

令和5年度第3回岐阜市市政モニター
「ぎふCITYウォッチャーズ」
調査結果

テーマ

- ・男女共同参画に関する意識、実態調査について

目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

お問い合わせ先

市民協働推進部 男女共生・生涯学習推進課

TEL : 058-214-4792 / MAIL : danjo-gakushu@city.gifu.gifu.jp

1 調査目的

- ① あらゆる分野、場面においての男女共同参画に関する意識及び実態について調査を実施。
- ② ①の結果を今後の本市における男女共同参画を推進する取り組みの参考とする。

2 調査期間

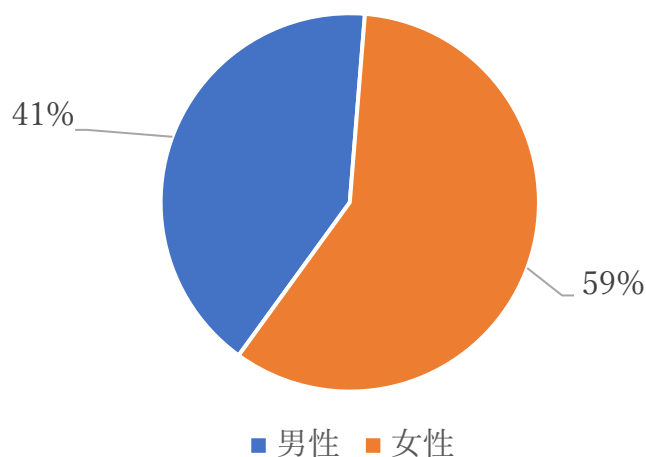
令和5年9月5日(火)～9月19日(火)

3 調査項目

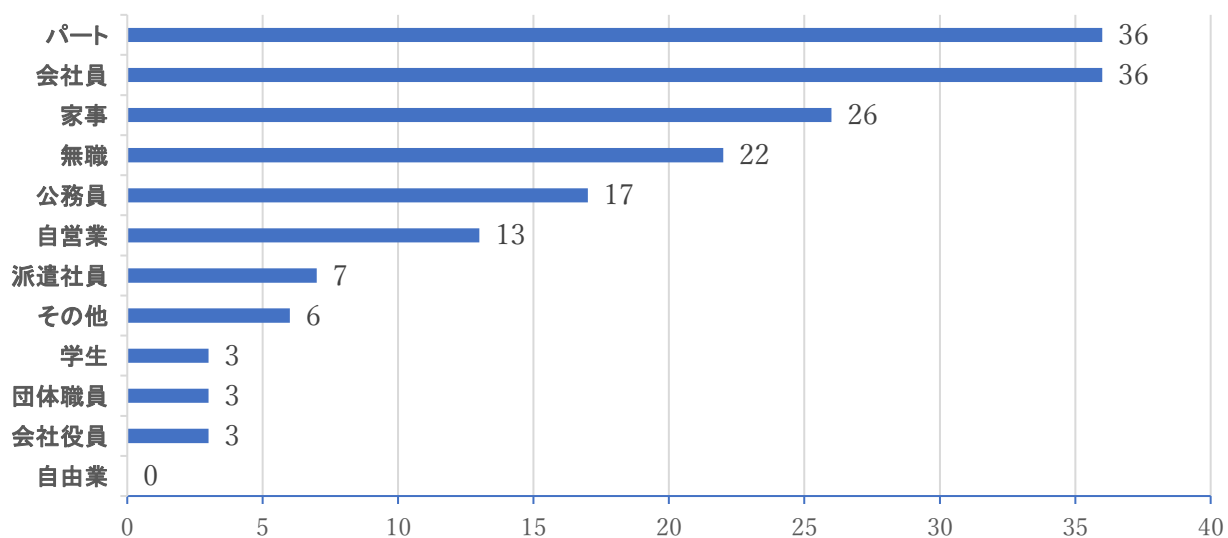
男女共同参画に関する意識、実態調査について（問1～問11）

4 回答者属性

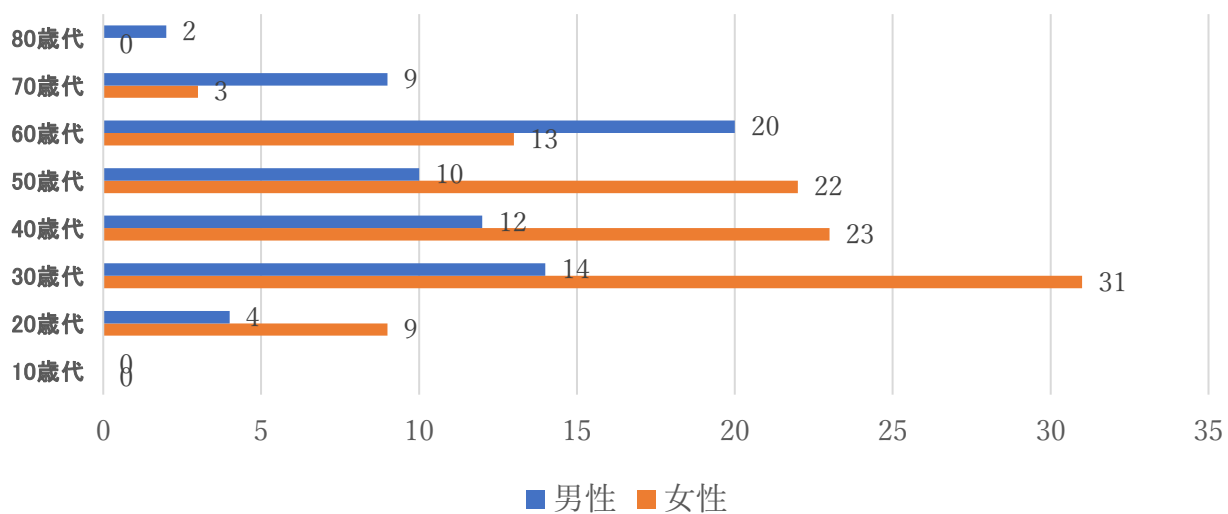
令和5年度市政モニター第3回回答者 性別別割合 n=172



令和5年度市政モニター第3回回答者 職業別割合 n=172



令和5年度市政モニター第3回回答者 年代別割合 n=172



5 結果の概要

男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

今回のアンケートで、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識については「同感できない」、「どちらかといえば、同感できない」と回答した方が、全体の 7 割を超える結果となりました。しかし、男女の地位については、“学校教育の場”以外の項目については「どちらかといえば男性が優遇されている」の回答割合が最も高くなっており、その中でも、“政治の場”“しきたりや慣習”が特に高い割合となっています。

また、就業については、就業しておらず、「働けない」理由を「出産・育児のため」と答えた方は約 5 割います。

女性が職業を持つことについて、「子どもができて、ずっと職業を続けるのがよい」と考える方は約 6 割いるものの、女性が職業を持ち続けていくうえで、問題と思われることについては、約 9 割の方が「家事や育児・介護との両立が難しい」を選択しています。

この結果から、性別役割分担意識については同感できないと考えているものの、社会全体ではそれが強く残っていることがうかがえます。また、女性が社会に出て活躍するには家事・育児との両立ができるように職場や家庭において、女性が働きやすい環境や制度の整備が必要であると考えます。男女共同参画社会の実現のため、こういった問題の解消に向けてより一層取り組むことが必要であると考えています。

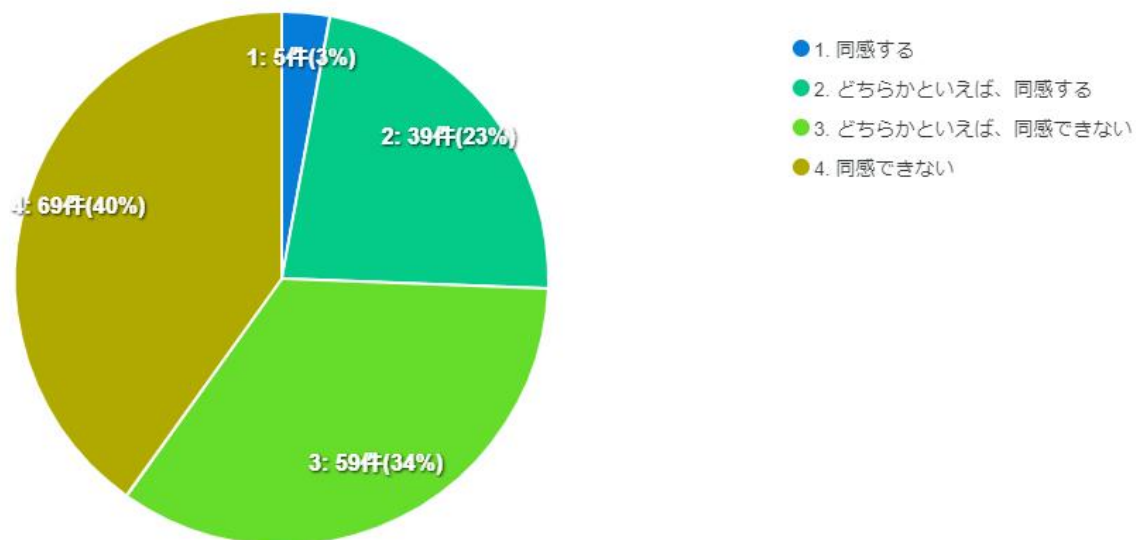
さらに、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）についてのアンケートでは、アンコンシャス・バイアス自体の認知度は約 4 割にとどまりました。「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識について、全体の 7 割を超える方が「同感できない」、「どちらかといえば、同感できない」と回答しているにもかかわらず、「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」という質問については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方が、6 割強という結果となりました。

この結果から、無意識の思い込みは誰もが持っているものだということがうかがえます。まずは、アンコンシャス・バイアスそのものを知り、気づくことが必要であると考えております。

6 項目別の結果

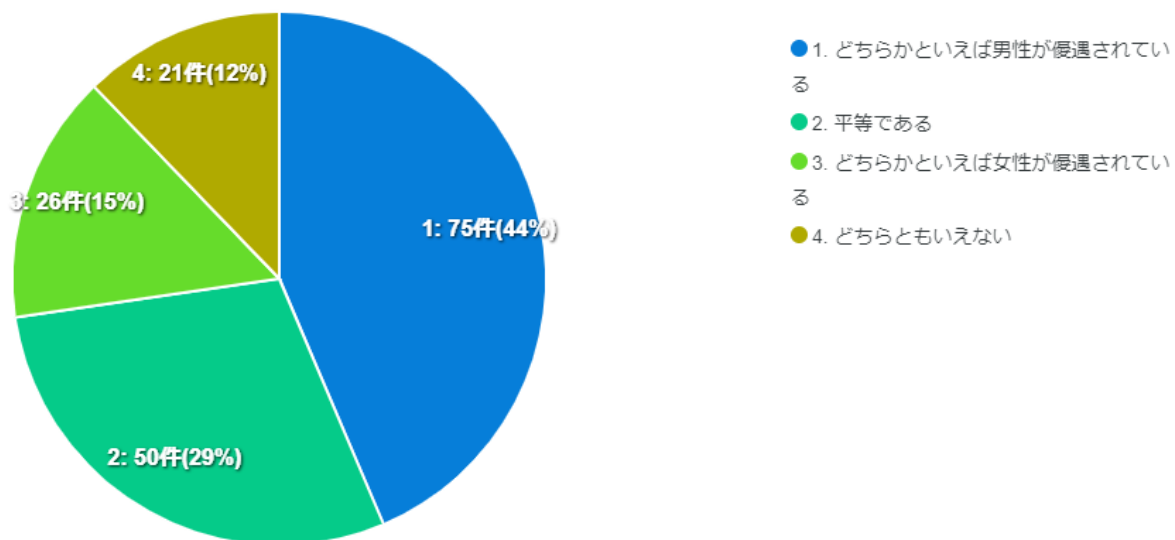
男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

質問 1. あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか？

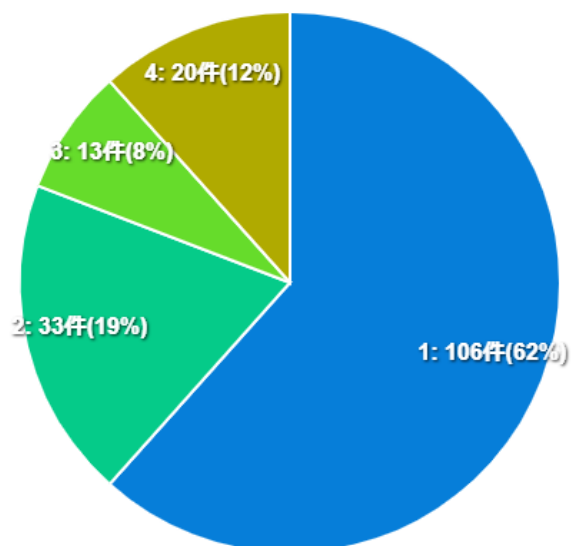


質問 2. あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか？

【家庭生活】

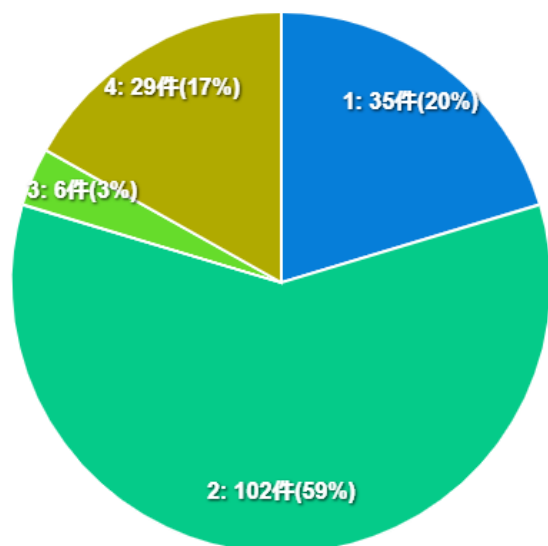


【職場】



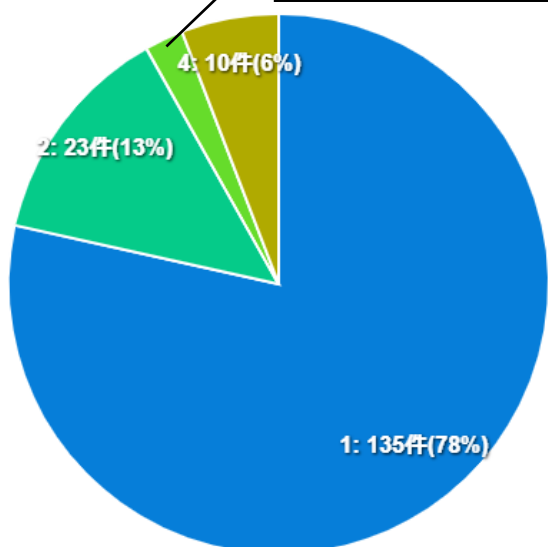
- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

【学校教育の場】



- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

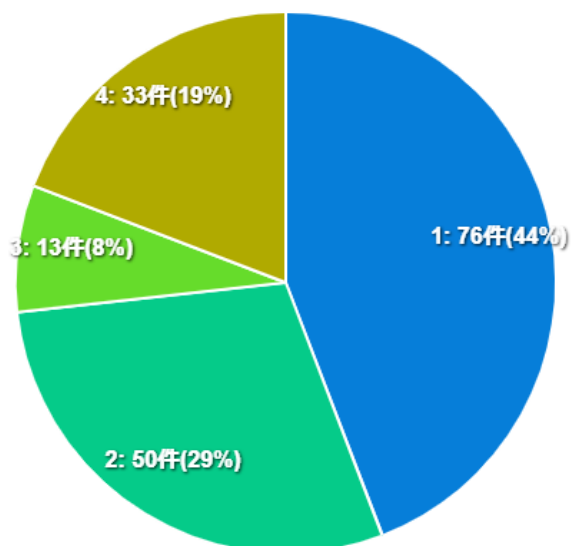
【政治の場】



3. どちらかといえば女性が優遇されている 4件(2%)

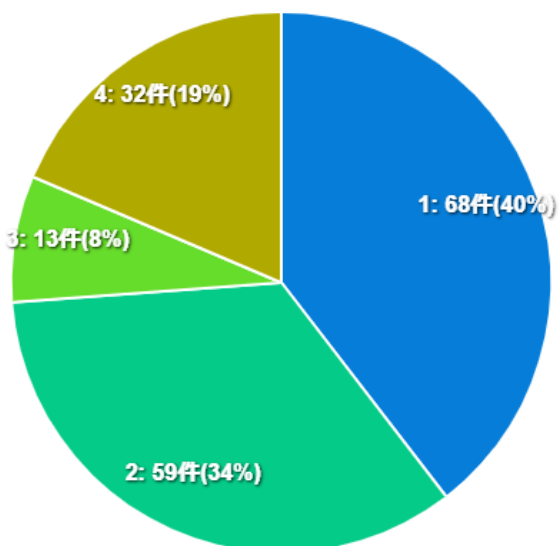
- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

【地域活動の場】



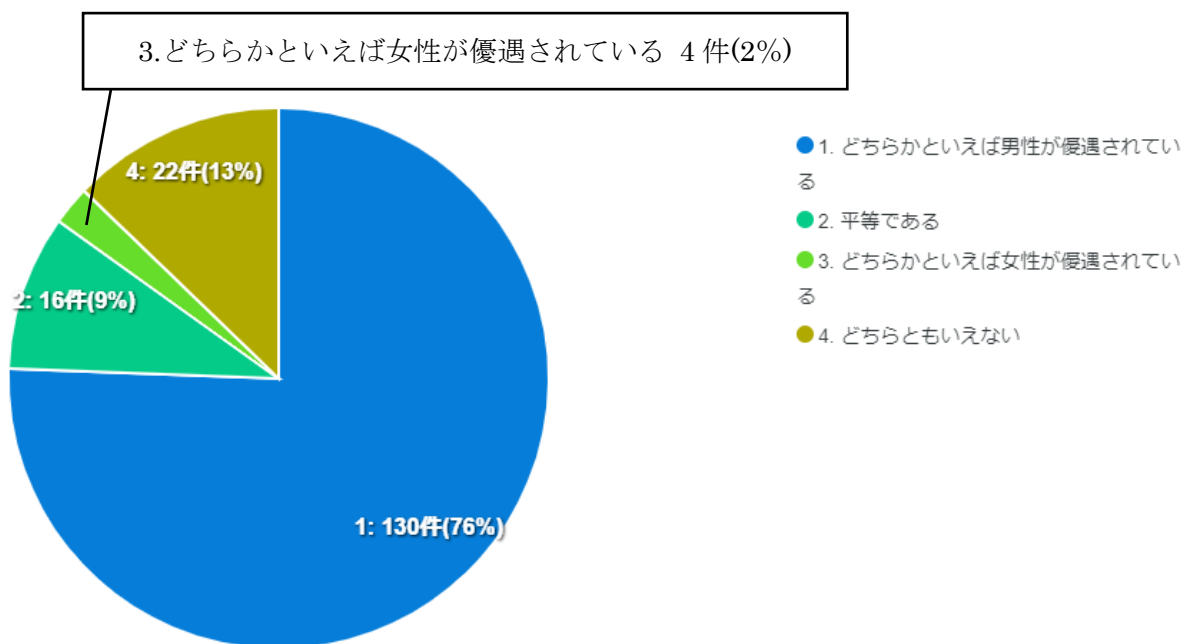
- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

【法律や制度】

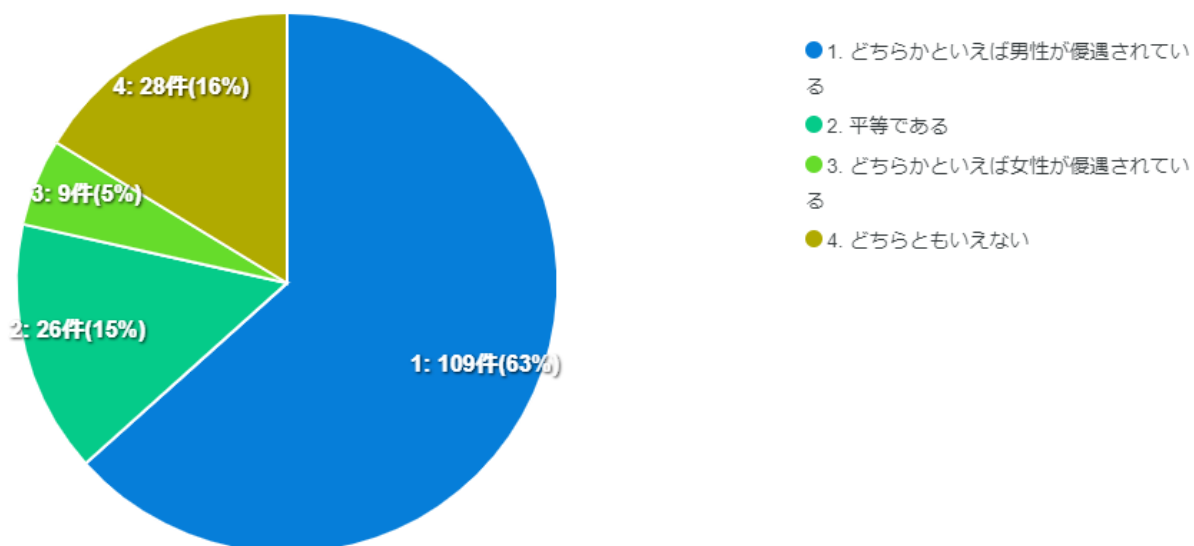


- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

【しきたりや慣習】

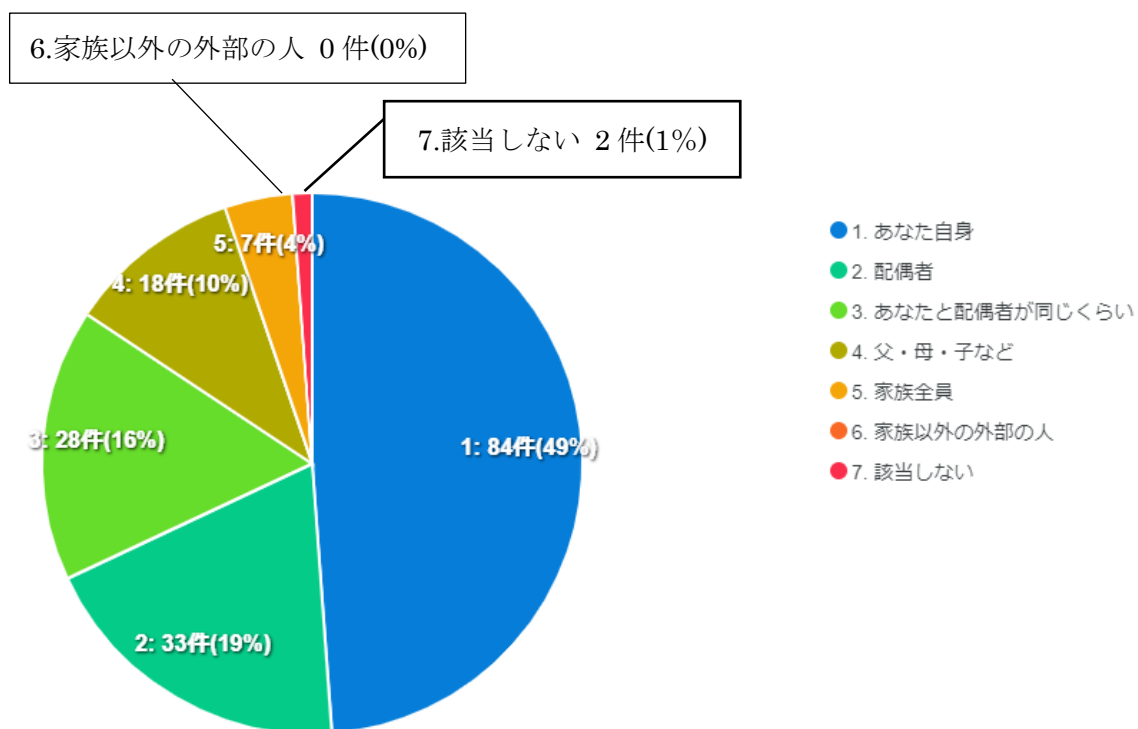


【社会全体】

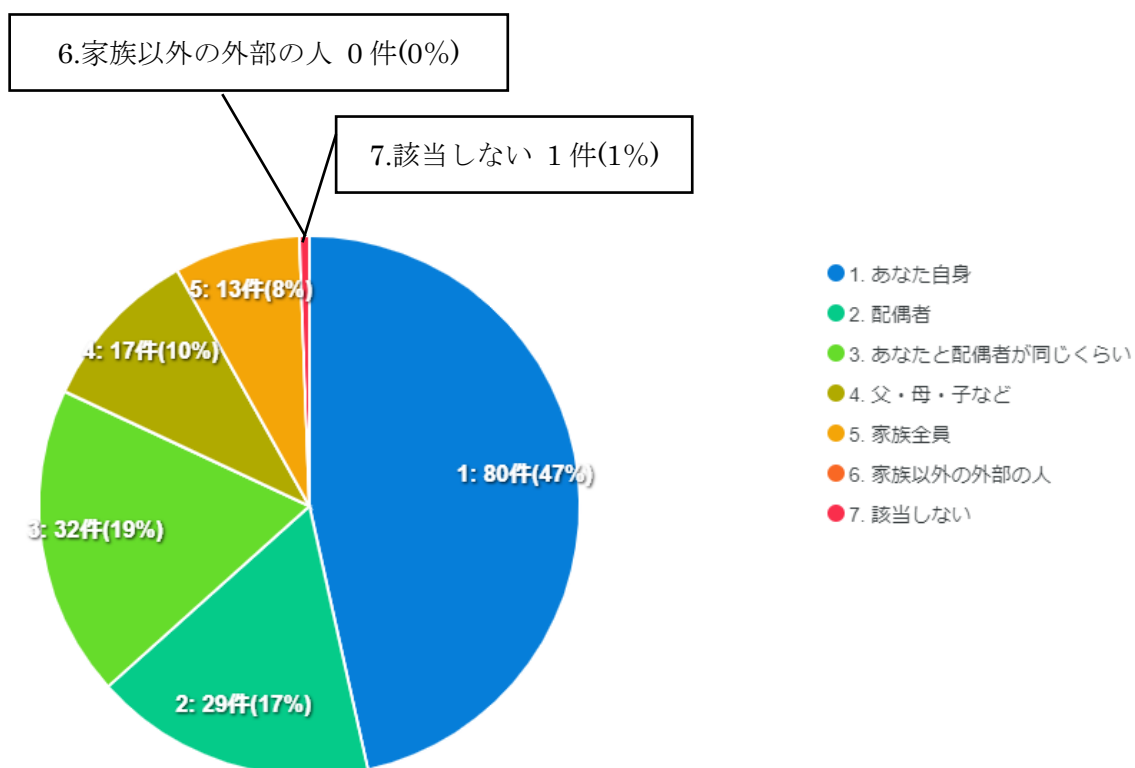


質問3. あなたの家庭では、家事や育児、介護などについて主に誰が担っていますか？

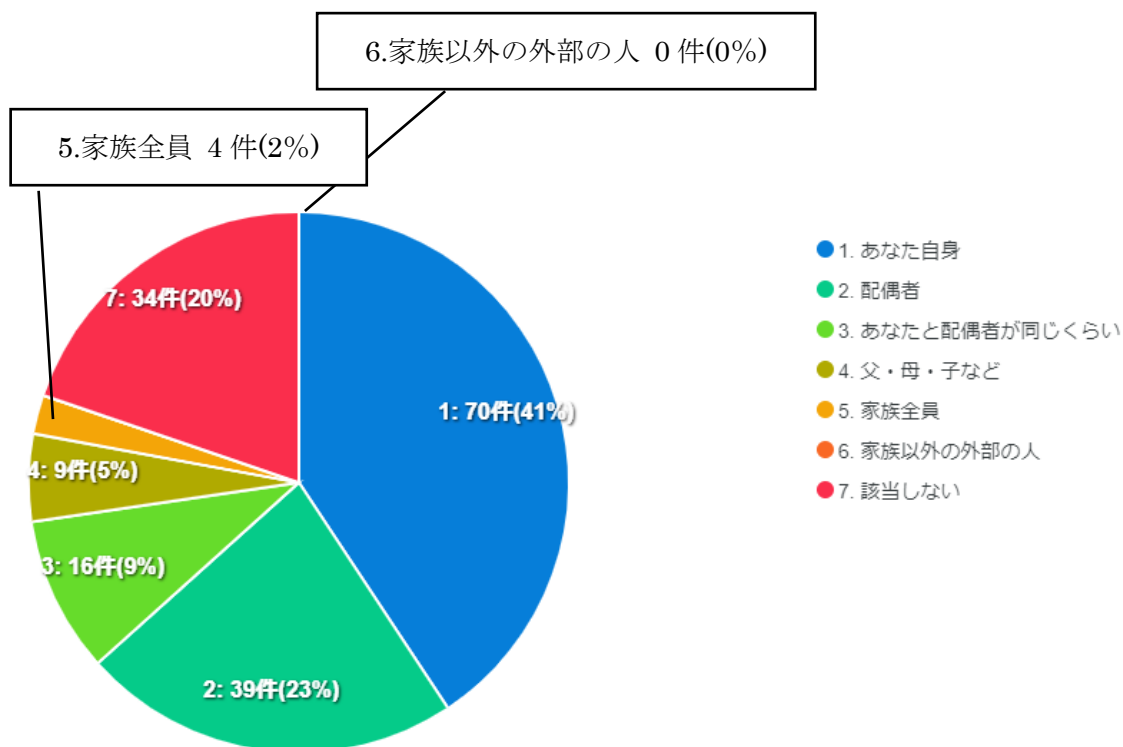
【掃除・洗濯などの家事】



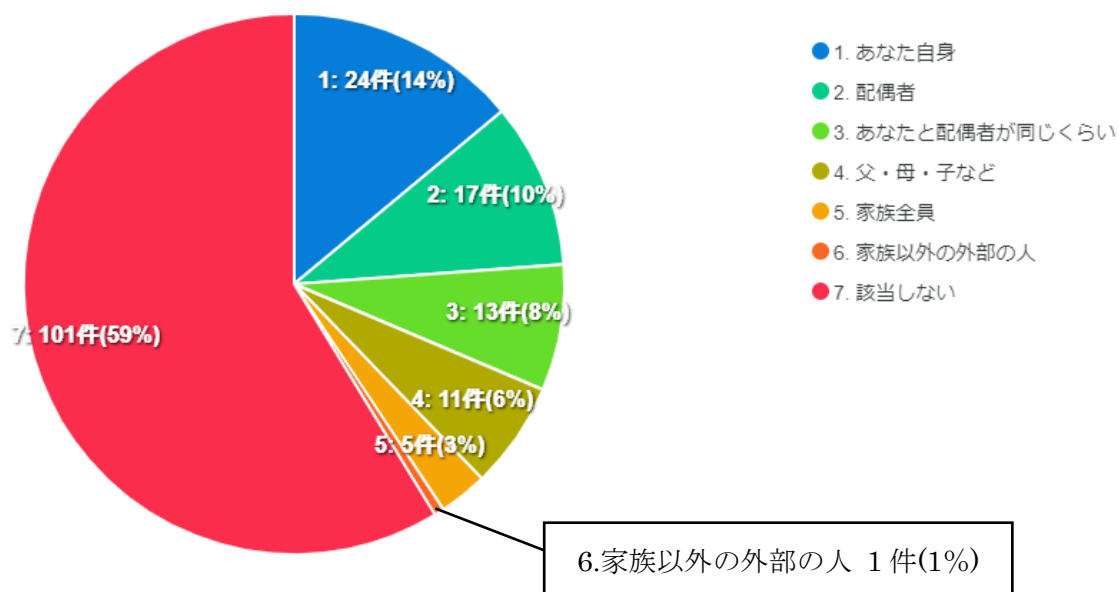
【食事の支度や後片付けなどの家事】



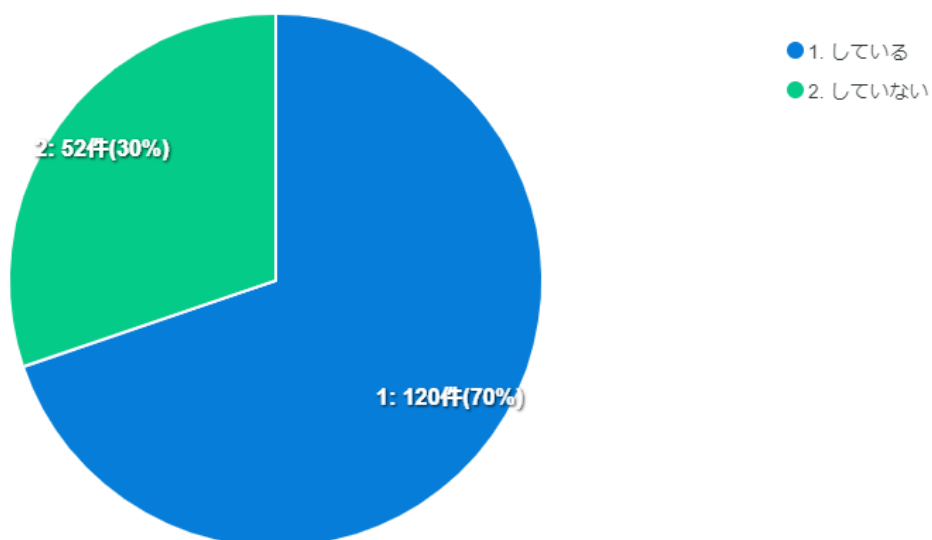
【育児（過去から現在までで該当ある場合）】



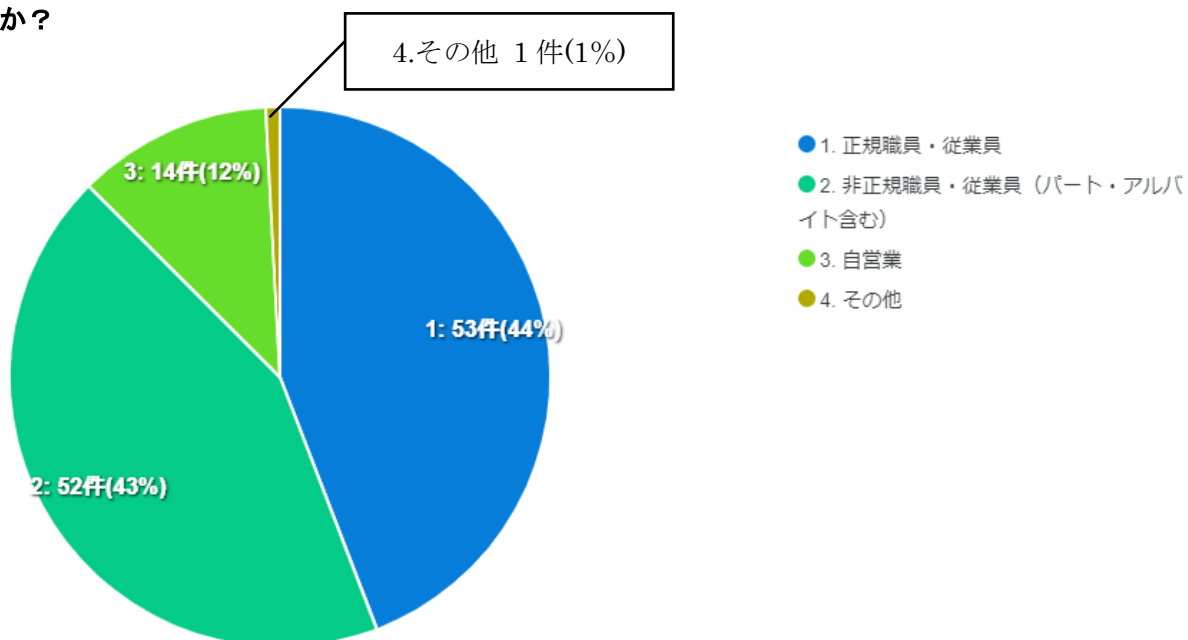
【介護（過去から現在までで該当ある場合）】



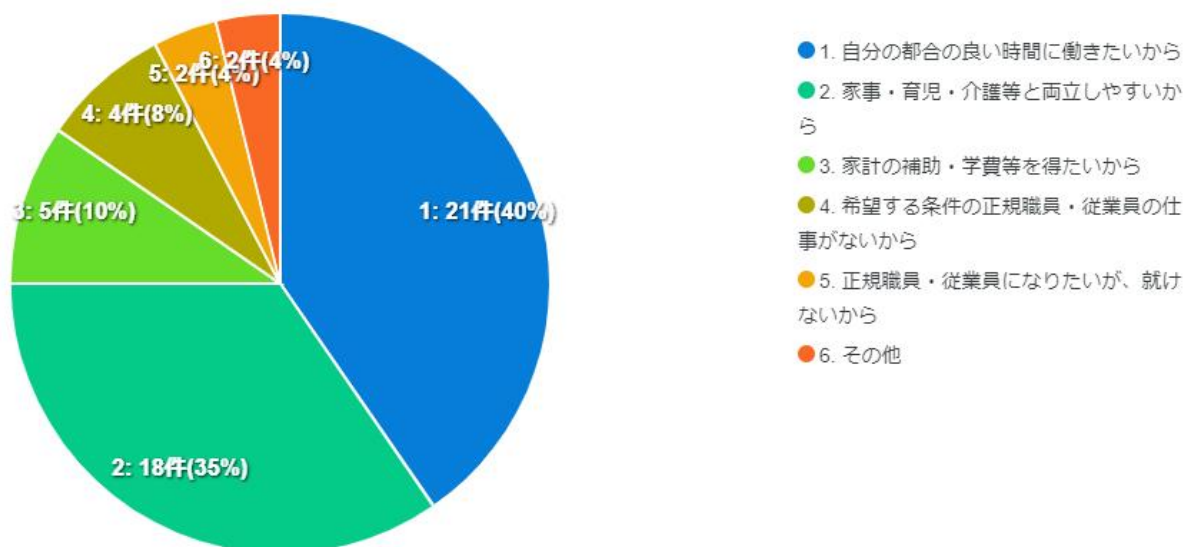
質問4. あなたは、収入を伴う仕事（パート、自営業、臨時、在宅勤務などを含む）をしていますか？



質問4-1. 質問4で「している」と答えた方にお聞きします。あなたの就業形態は以下の内、どれですか？



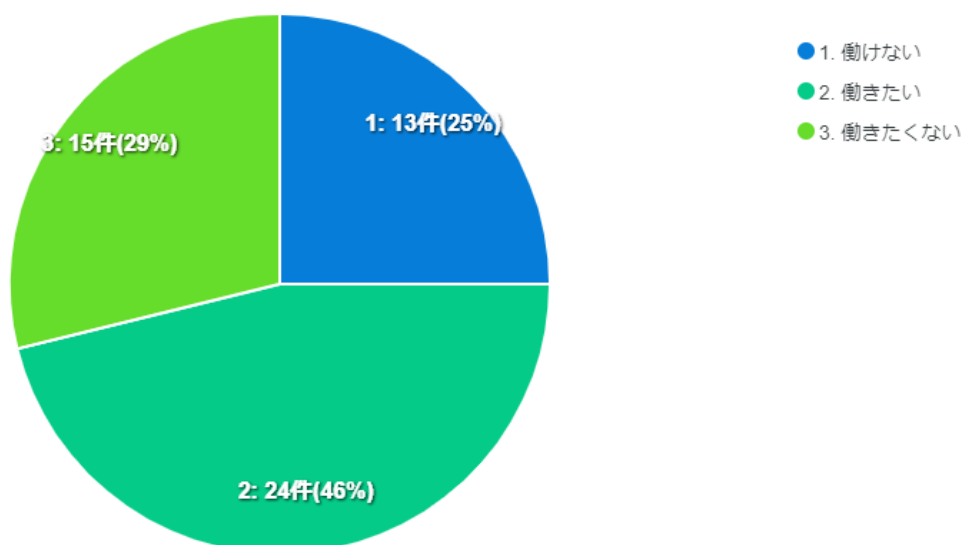
質問4-2. 質問4-1で「非正規職員・従業員（パート・アルバイト含む）」と答えた方にお聞きします。
あなたが非正規の職員・従業員に就いた主な理由は何ですか？



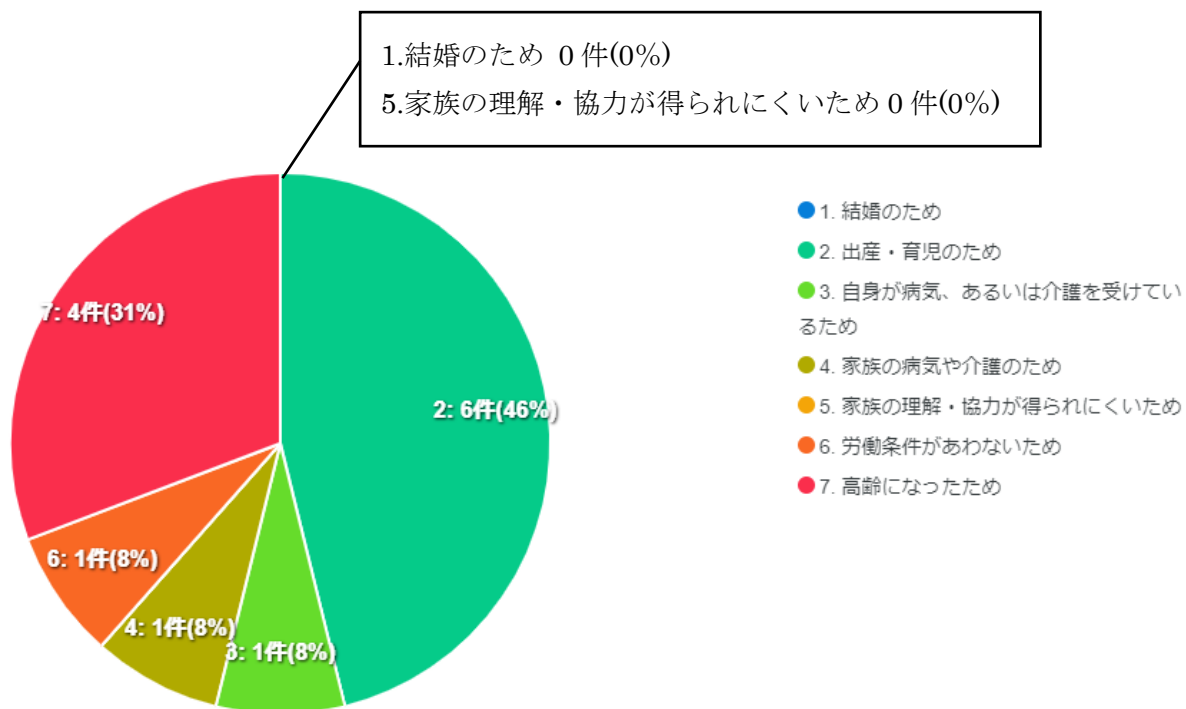
■その他<一部抜粋>

- ・定年退職をして、再任用という立場で働いている。

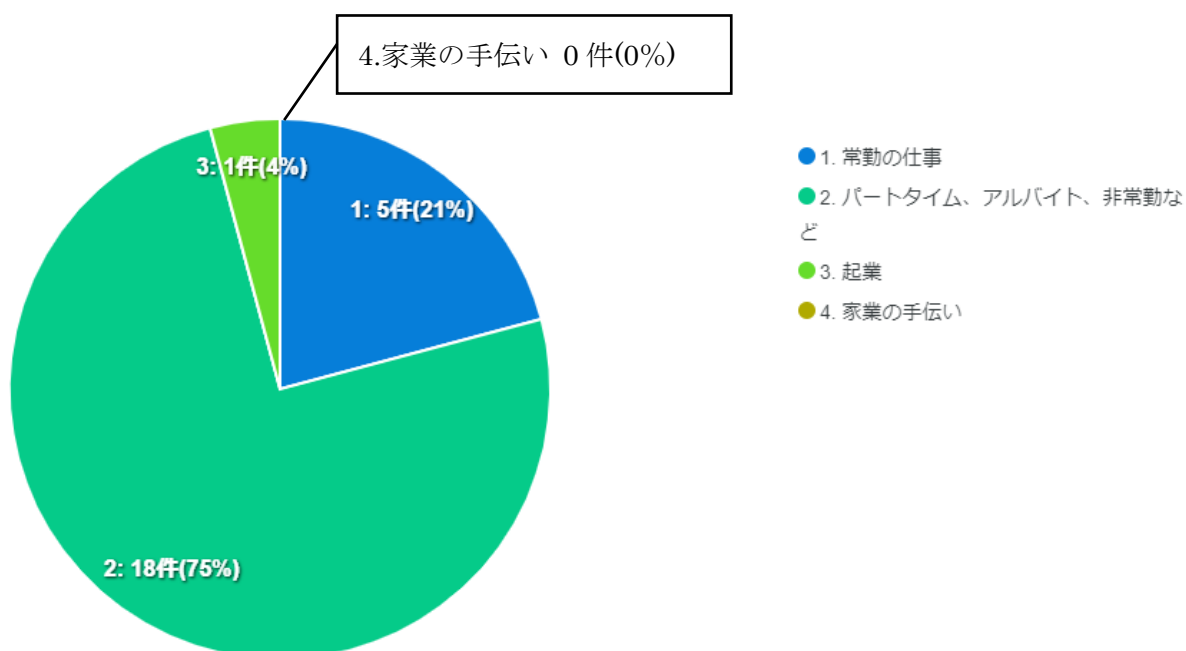
質問5. 質問4で「していない」と答えた方にお聞きします。今後、どうしたいですか？



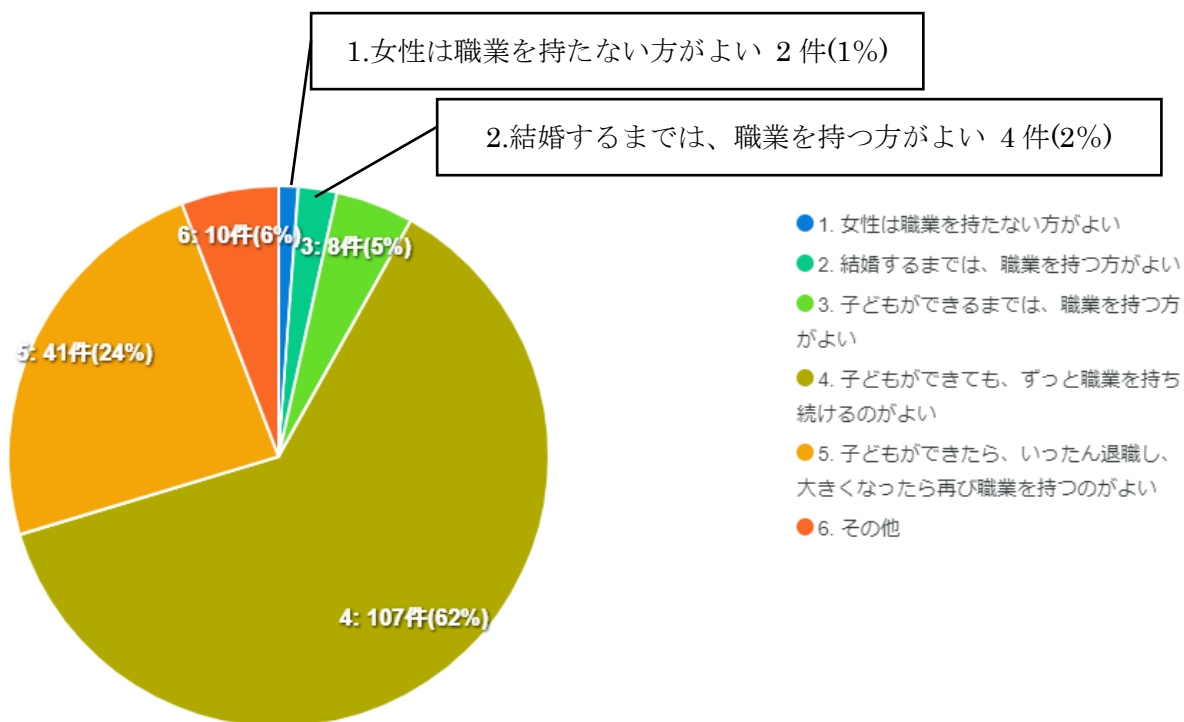
質問5-1. 質問5で「働けない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか？



質問5-2. 質問5で「働きたい」と答えた方にお聞きします。どのような形で働きたいとお考えですか？



質問6. あなたは、女性が職業を持つことについてどう思いますか？

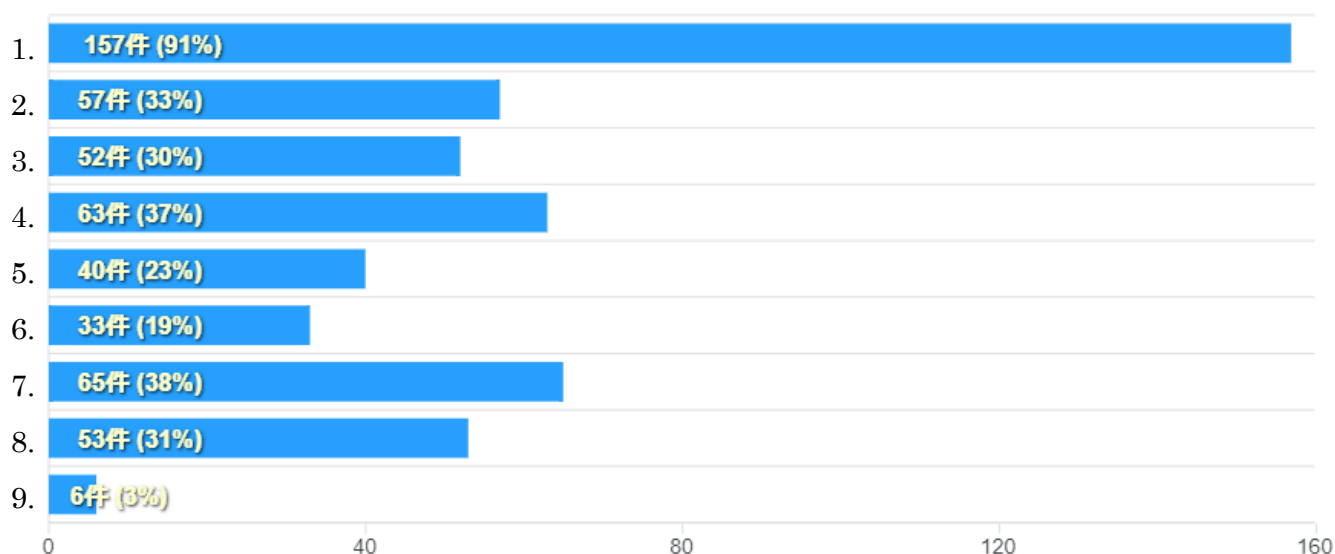


■その他<一部抜粋>

- ・ 職業をもつ、持たないは個の意思による
- ・ 家庭の状況により変わるので一つの項目を選択できない
- ・ 環境によつての協力者あるならば持った方がよい
- ・ 男性、女性に関わらず、自由に仕事することは選べるべきである。
- ・ その人が働きたいと思う時期に職業が持てれば良いと思う。
- ・ 女性が自分で決めればよいと思うが、子育てなどの理由で自分で決められない状況がある。

質問7. 女性が職業を持ち続けていくうえで、問題と思われることは何だと思いますか？（複数回答）

1. 家事や育児・介護との両立が難しい
2. 家族の協力や理解が得られない
3. 職場が責任ある仕事を女性に任せない
4. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られている
5. 女性自身の職業に対する自覚が不足している
6. 女性の勤続年数が平均的に短い
7. 時間外労働（残業）や深夜労働をさせにくいとされている
8. 顧客や取引先を含め、社会一般の理解が不十分である
9. その他

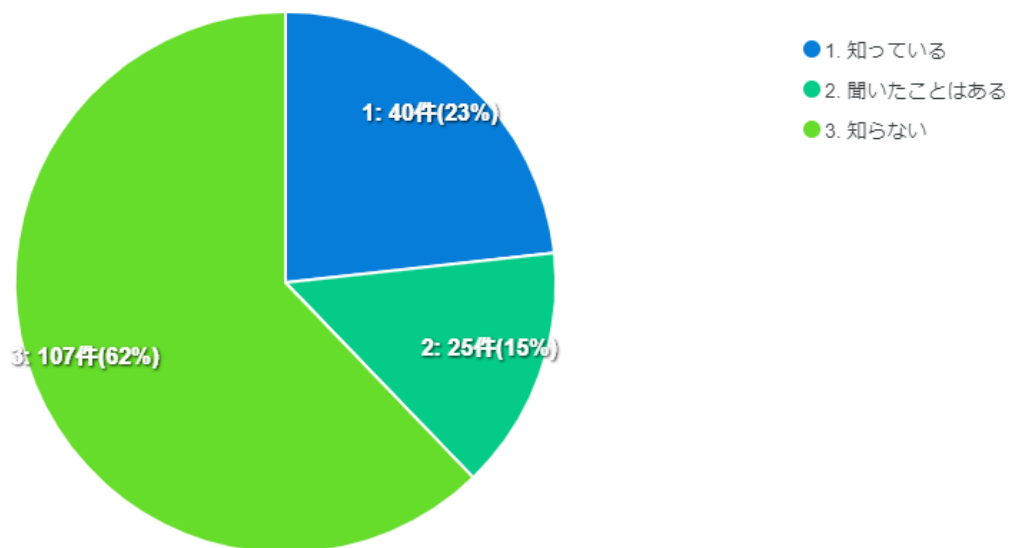


■その他<一部抜粋>

- ・ 育児に十分向き合う時間があり、その後復帰ができる環境
- ・ 子供の預け先不足による休業、遅刻早退
- ・ 子育てを行う上で、祖父母の頼りなしに両立ができない制度がおかしい。特に、学童保育は、高学年は利用できない。では、どのようにフルタイムで仕事をすればいいのですか？学童の入所も、祖父母などが面倒をみれない証明書が必要ですが、祖父母は全く別の生活を送っている、全く別の家庭です。堂々と、女性が育児と仕事を両立できる、リアルに困っている現実にあった制度が必要だと感じます。
- ・ 時短勤務などを取りにくい。子供の発熱などで突発休みをされると、子なしや独身にしわ寄せがくる。せめて、フォローした分の手当（賃金）が欲しい。

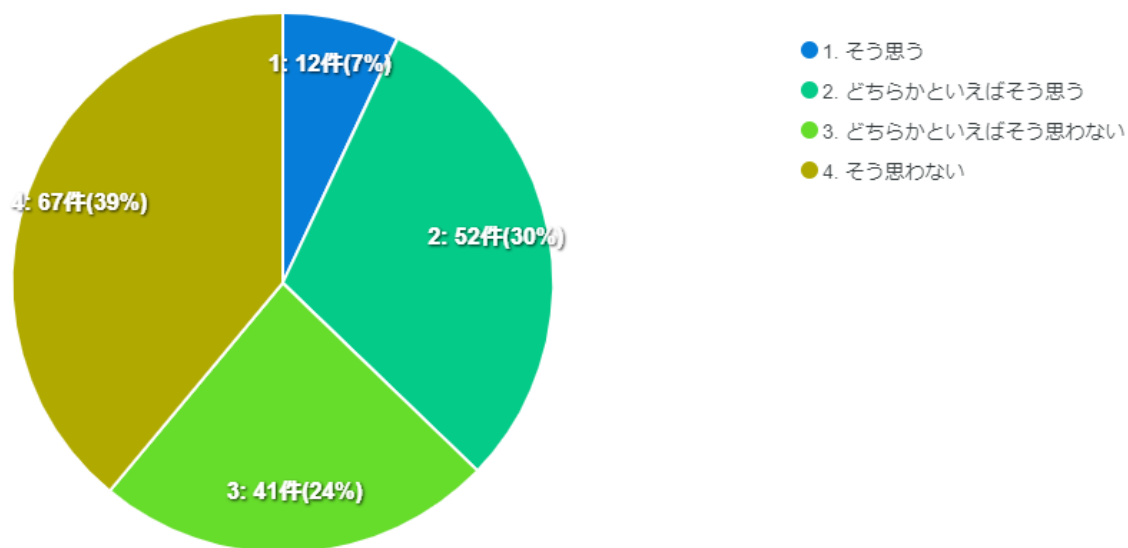
質問8. あなたはアンコンシャス・バイアス※（無意識の思い込み）について知っていますか？

※アンコンシャス・バイアスとは、これまでの経験や育った環境から、自分では気づかないうちに抱いている偏見や思い込みのことを言います。

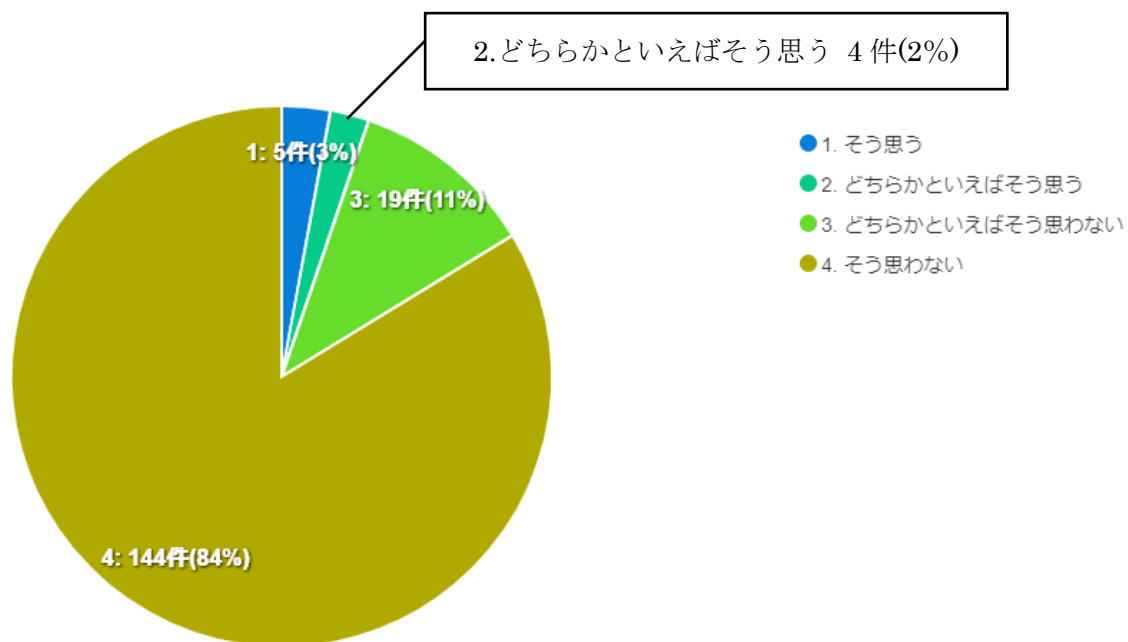


質問9. 家庭・コミュニティでのアンコンシャス・バイアスについてお伺いします。次の設問から自分に思い当たるものを選んでください。

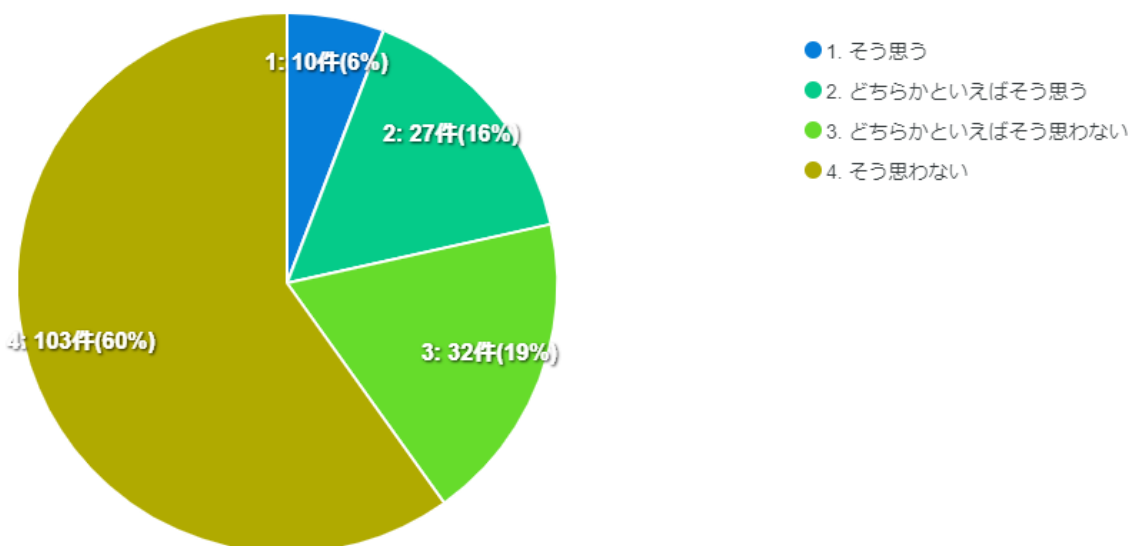
【家事・育児は女性がするべきだ】



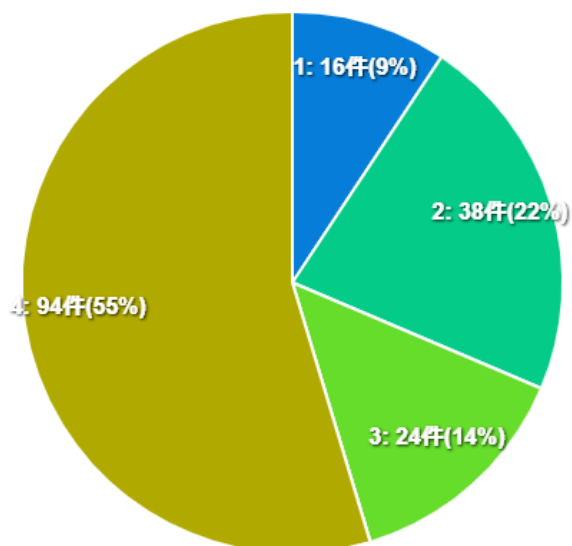
【男性が洗濯物を干すのはみっともない】



【家を継ぐのは男性であるべきだ】

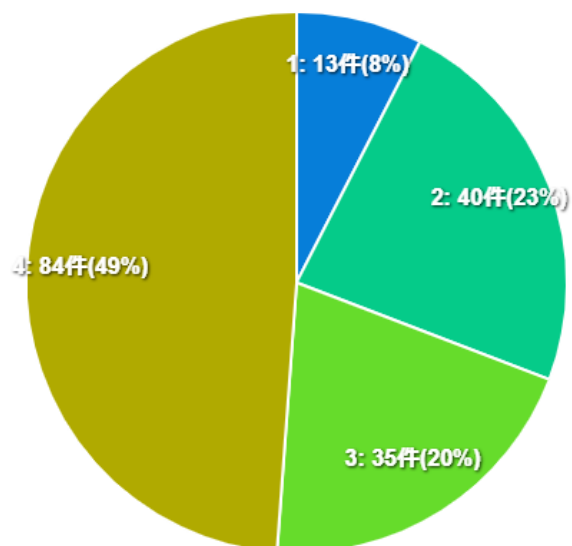


【男性は結婚して家庭をもって一人前だ】



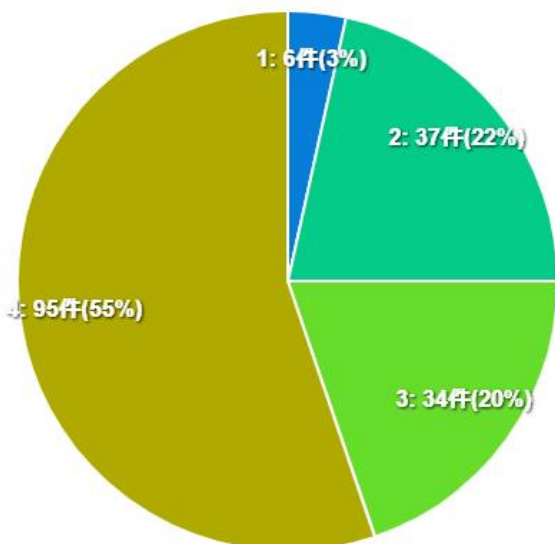
- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

【女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い】



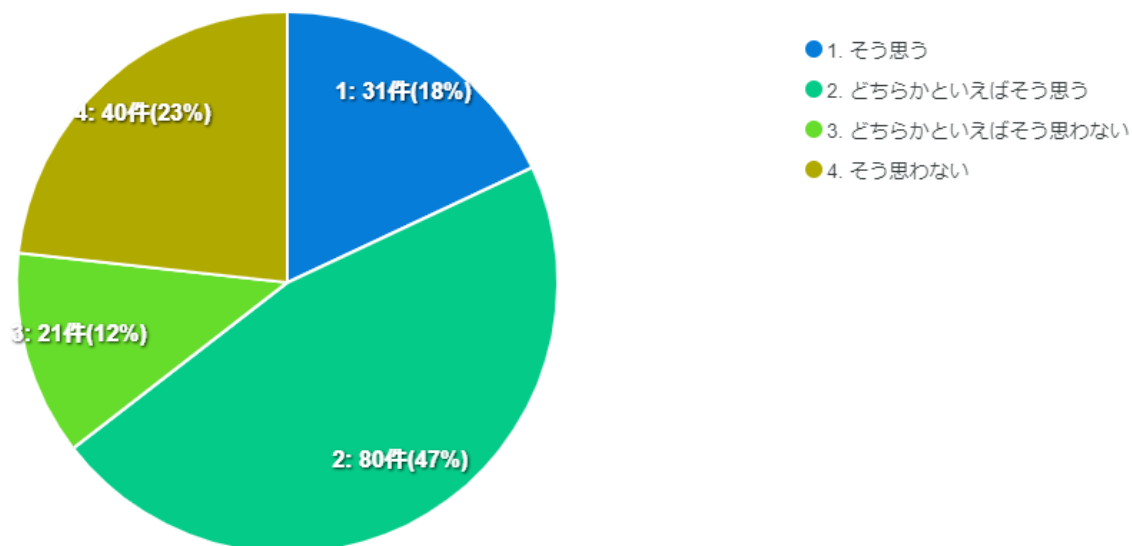
- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

【結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ】

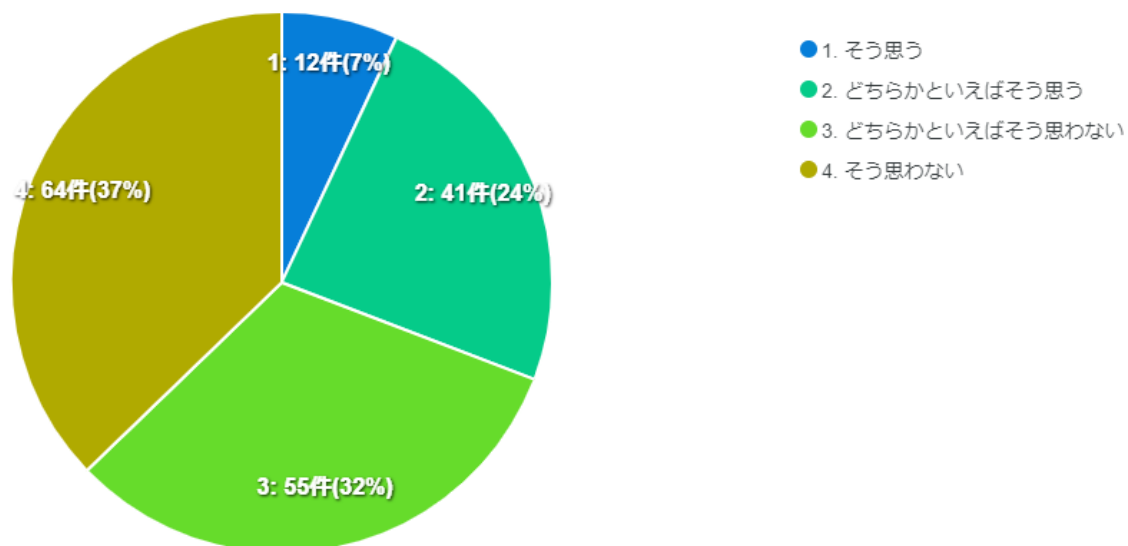


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

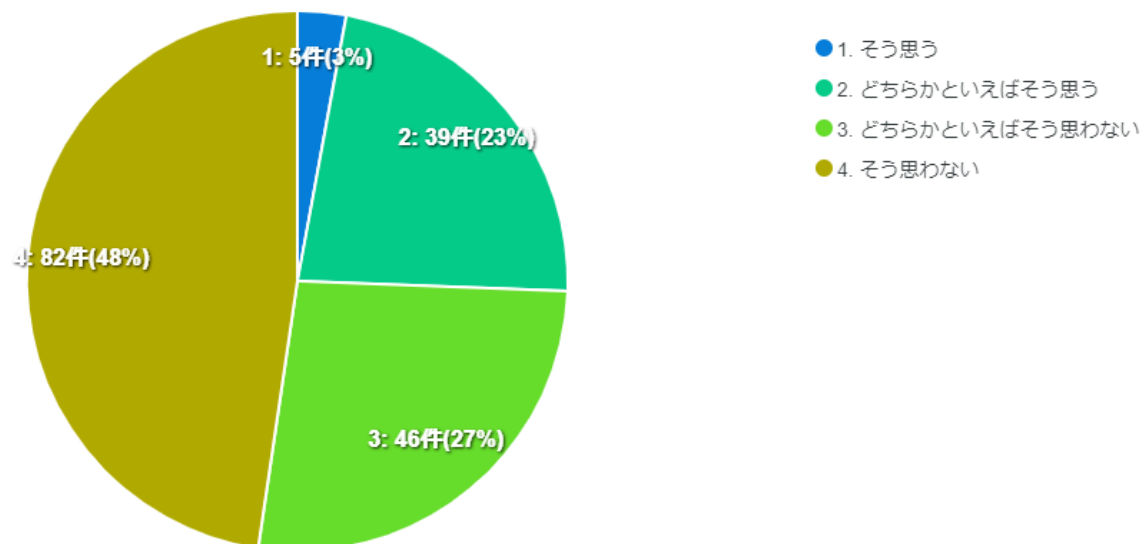
【男性は仕事をして家計を支えるべきだ】



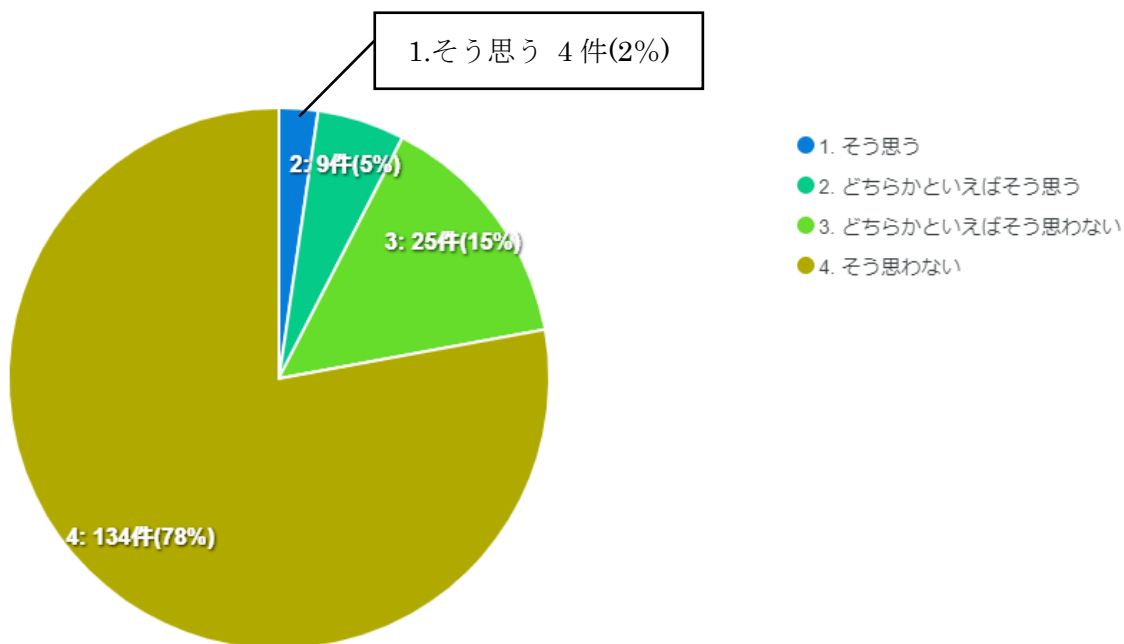
【共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ】



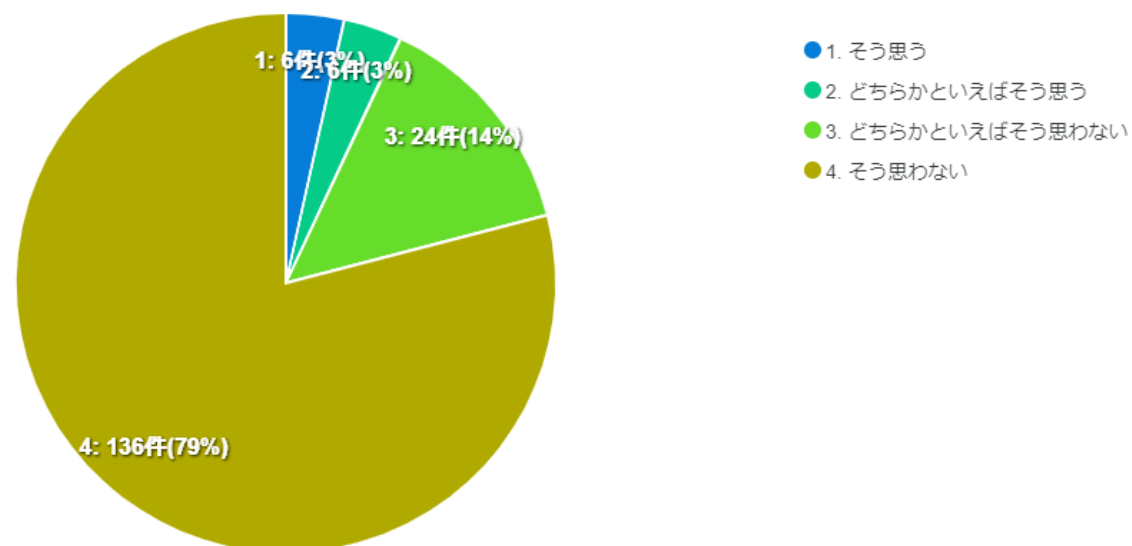
【共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ】



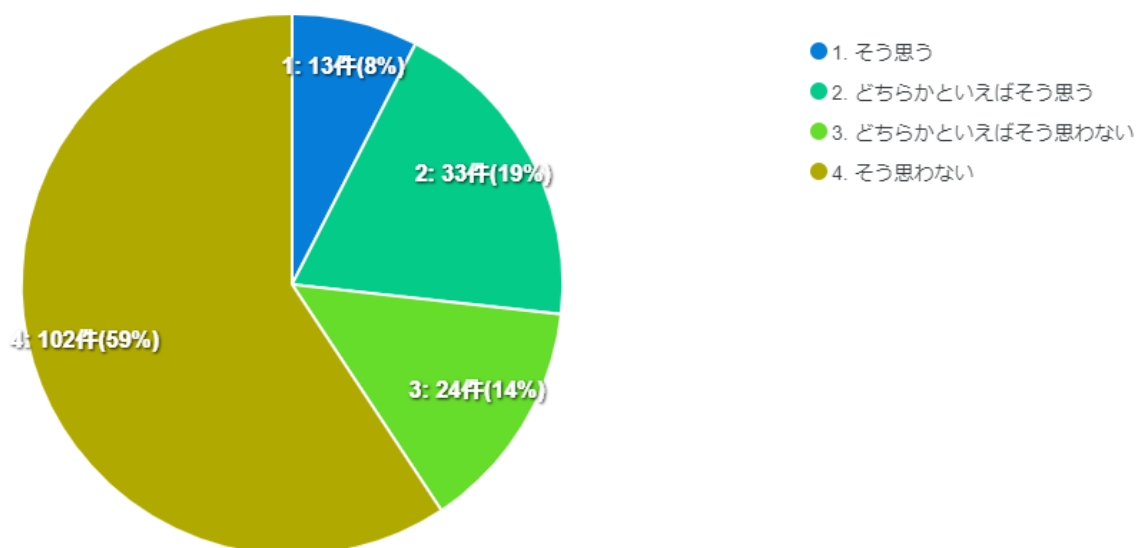
【学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いている】



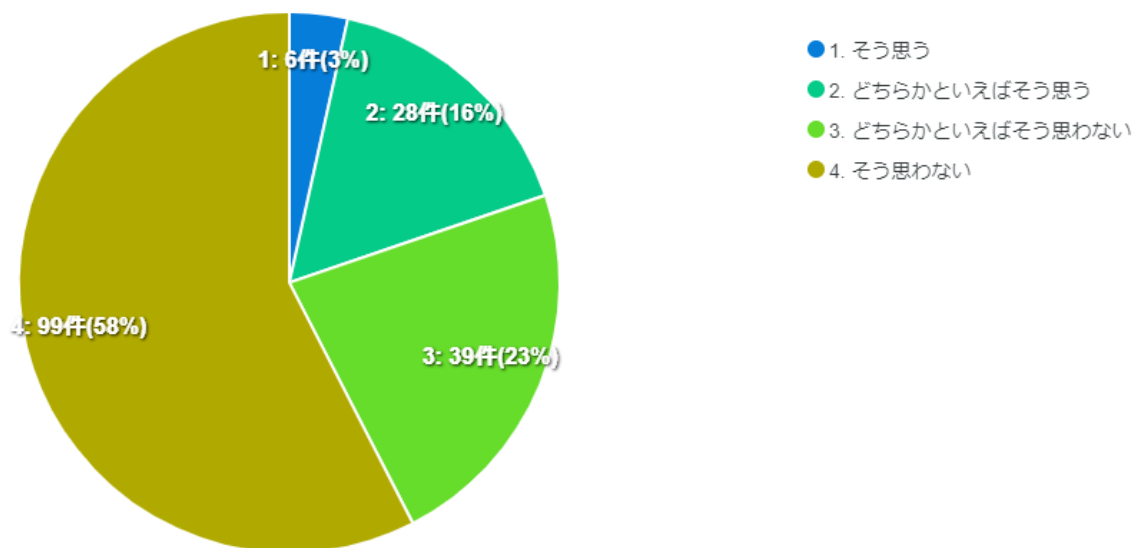
【女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない】



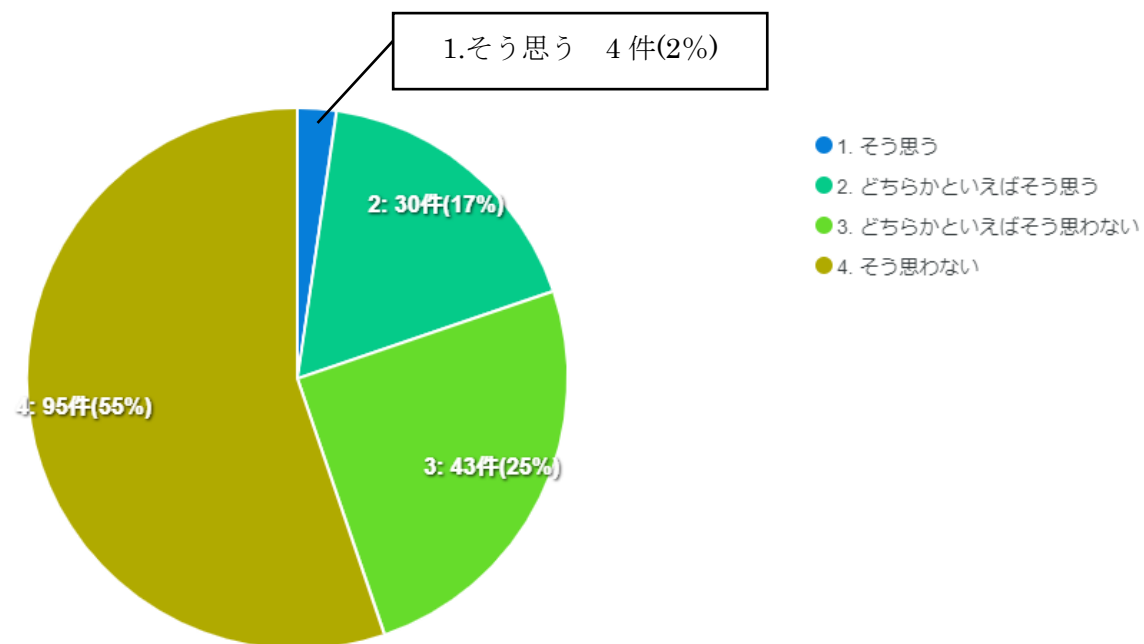
【男性であればいい大学を出て出世を目指すべきだ】



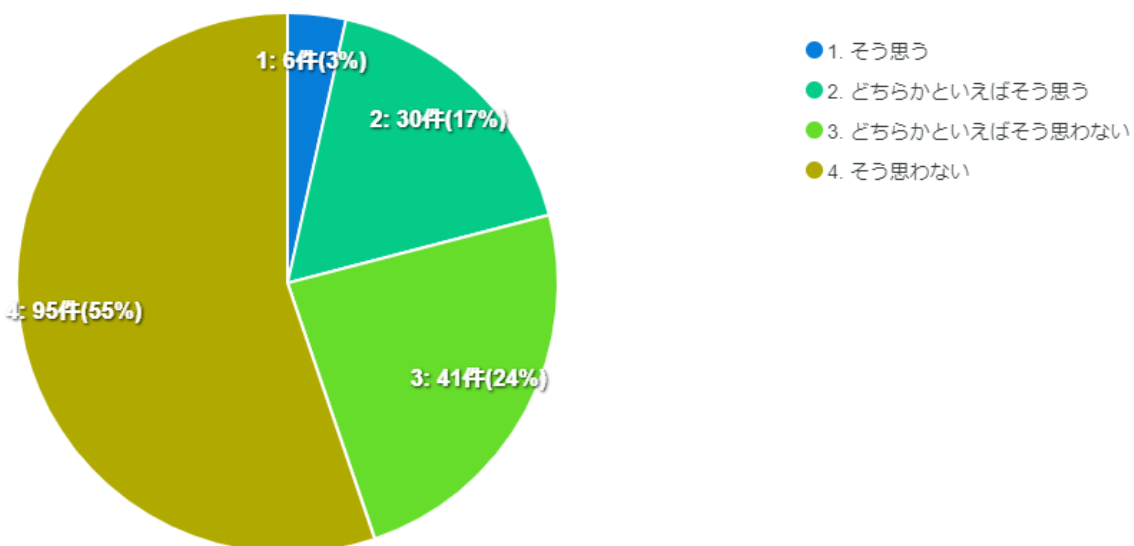
【PTA には、女性が参加するべきだ】



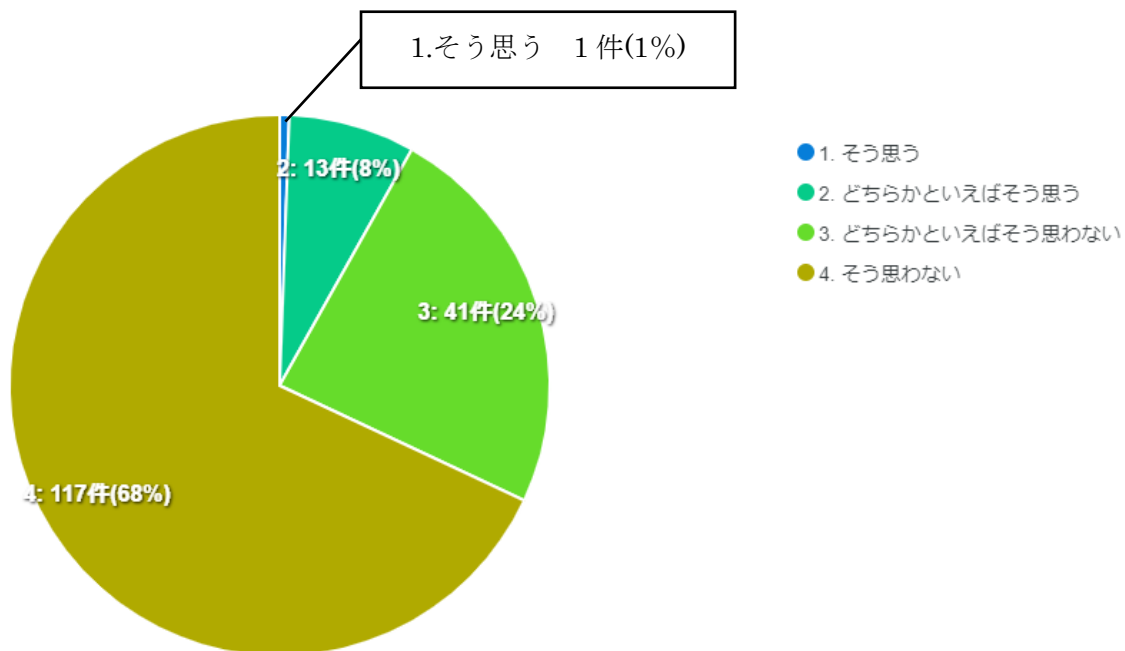
【親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ】



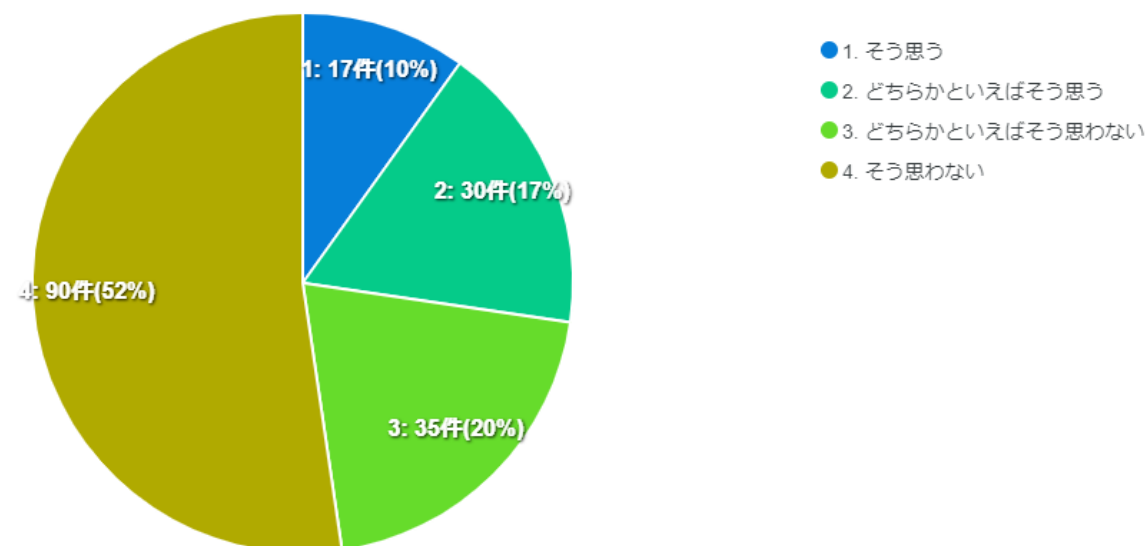
【自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ】



【実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がすべきだ】

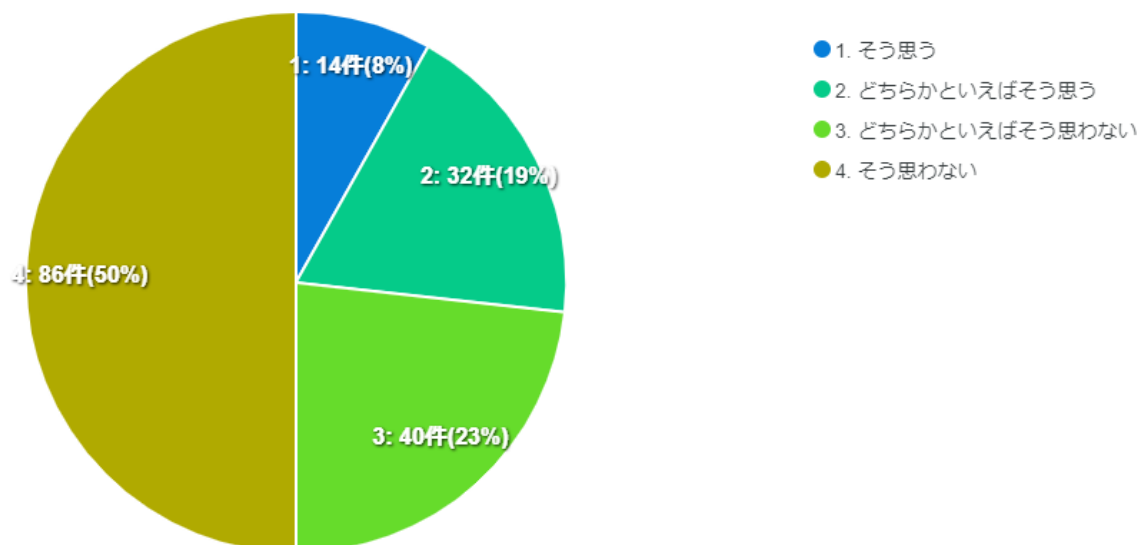


【デートや食事のお金は男性が負担すべきだ】

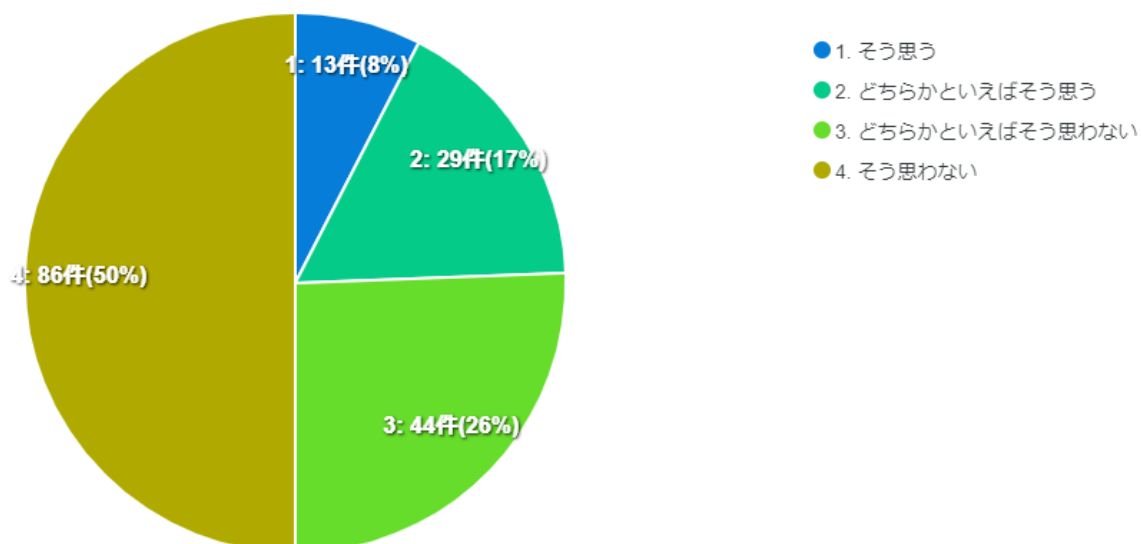


質問 10. 職場でのアンコンシャス・バイアスについてお伺いします。次の設問から自分に思い当たるものを選んでください。

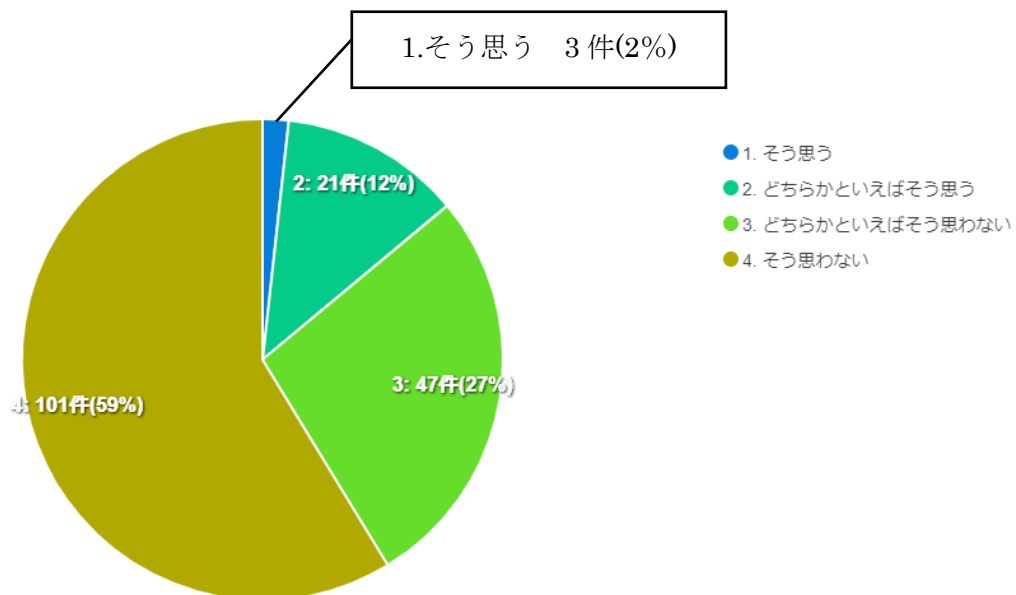
【組織のリーダーは男性の方が向いている】



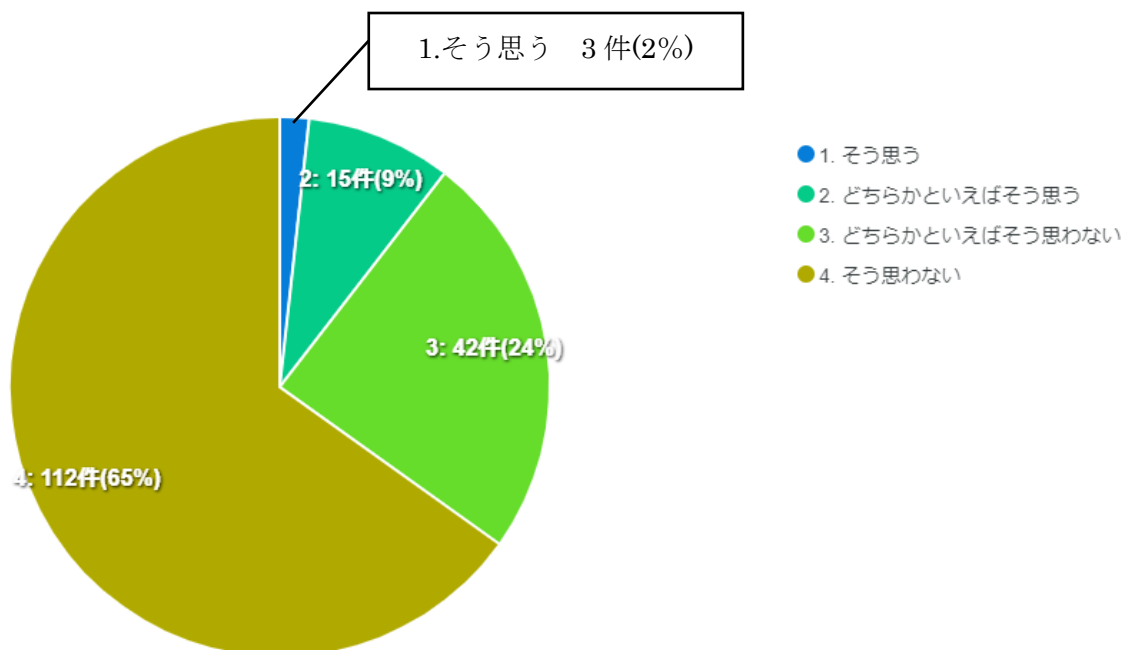
【大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい】



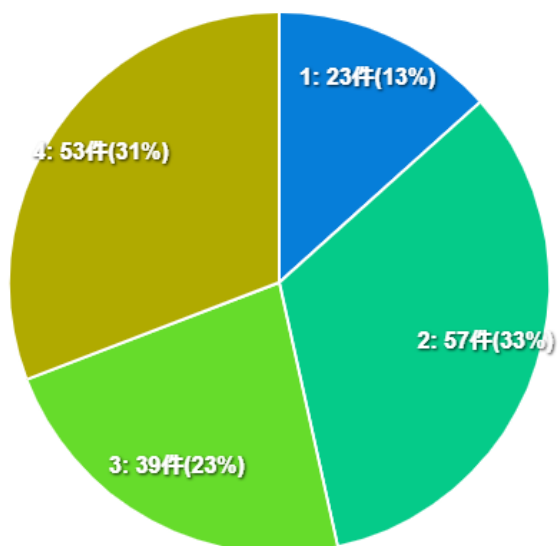
【事務作業などの簡単な仕事は女性がするべきだ】



【職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ】

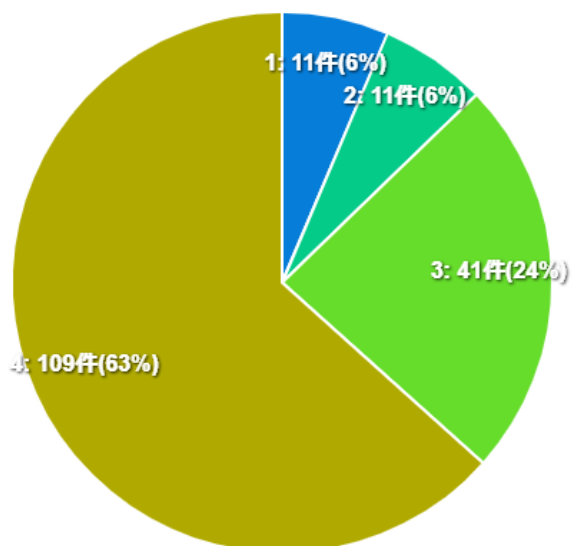


【育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない】



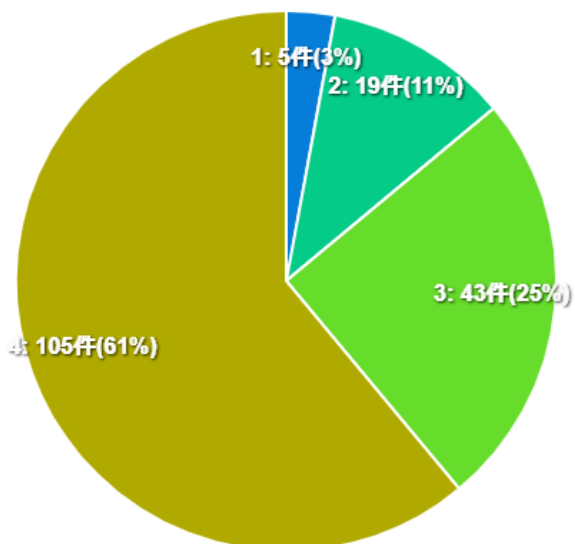
- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

【男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない】



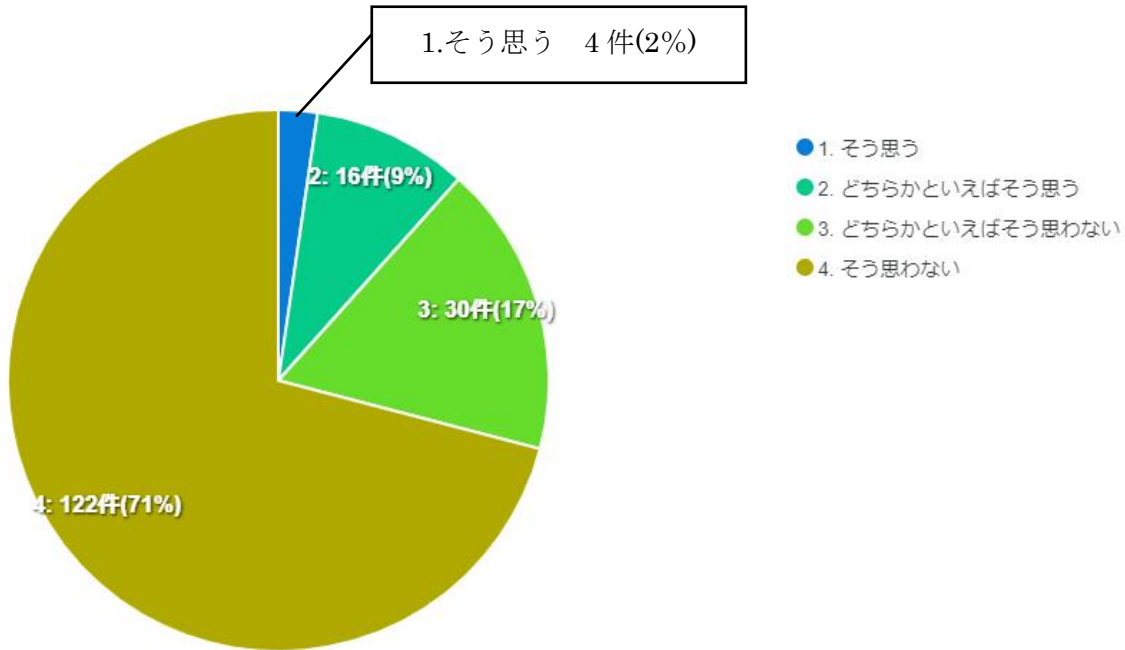
- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

【仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い】

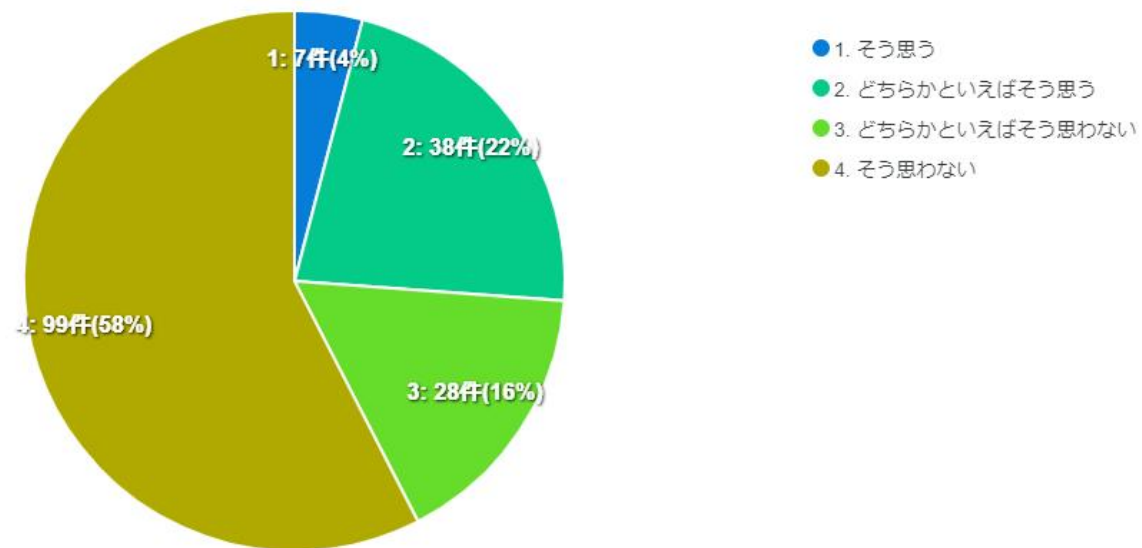


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

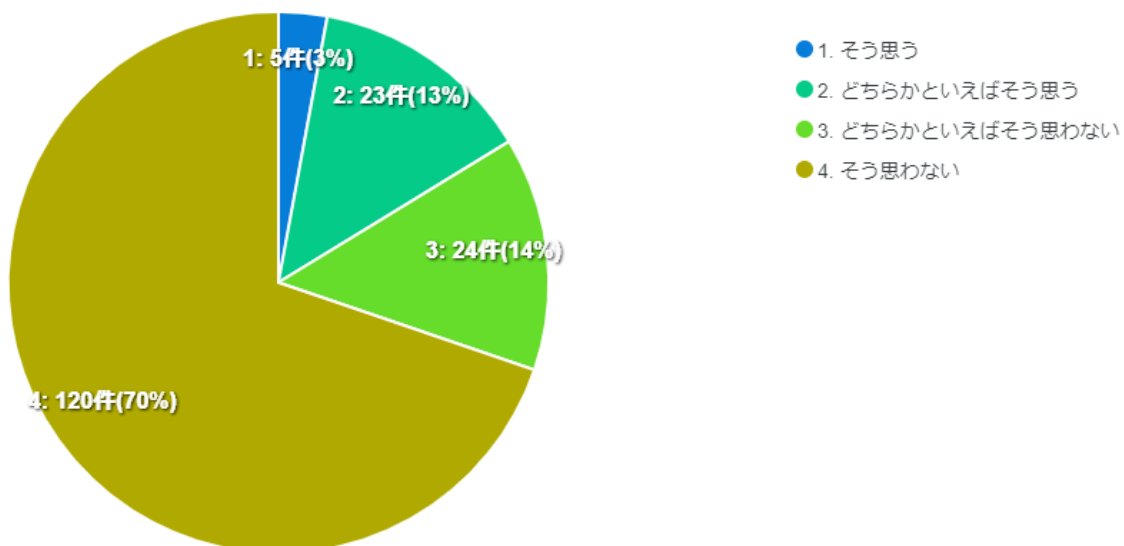
【営業職は男性の仕事だ】



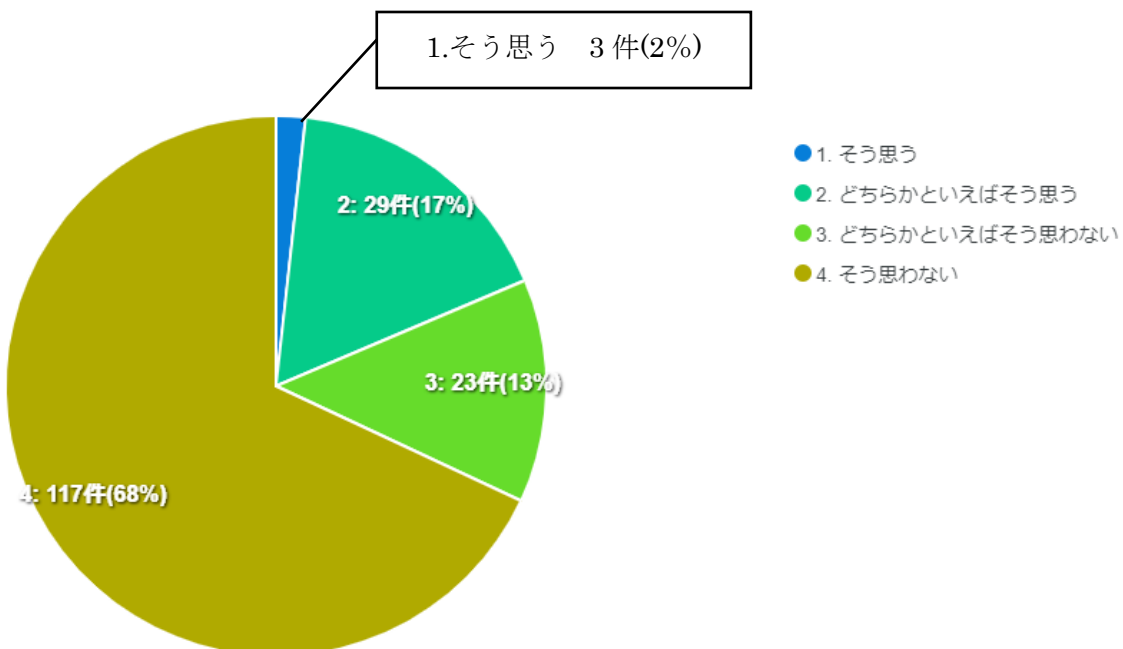
【受付、接客・応対（お茶出しなど）は女性の仕事だ】



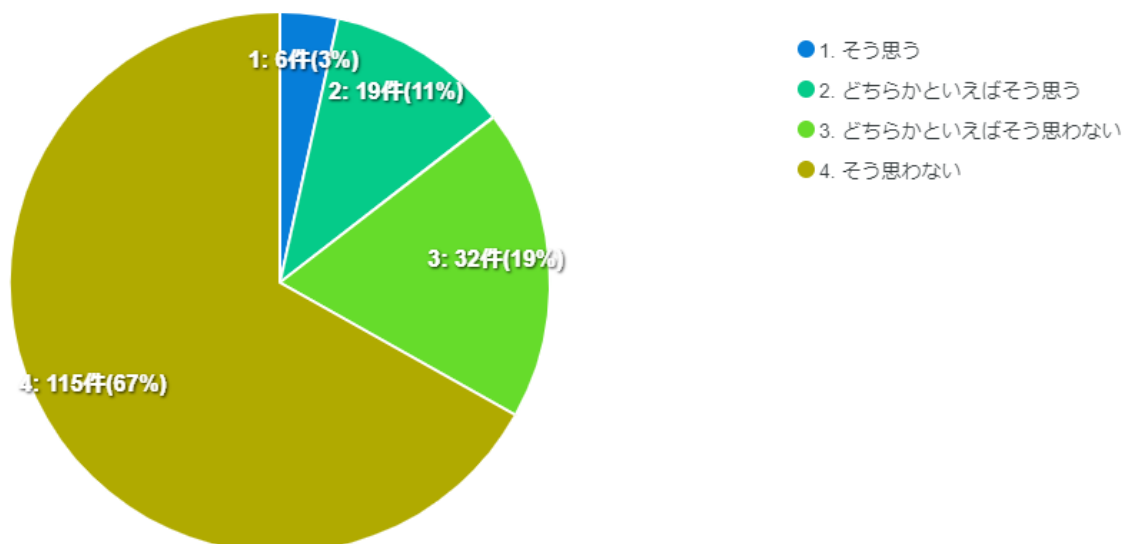
【職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い】



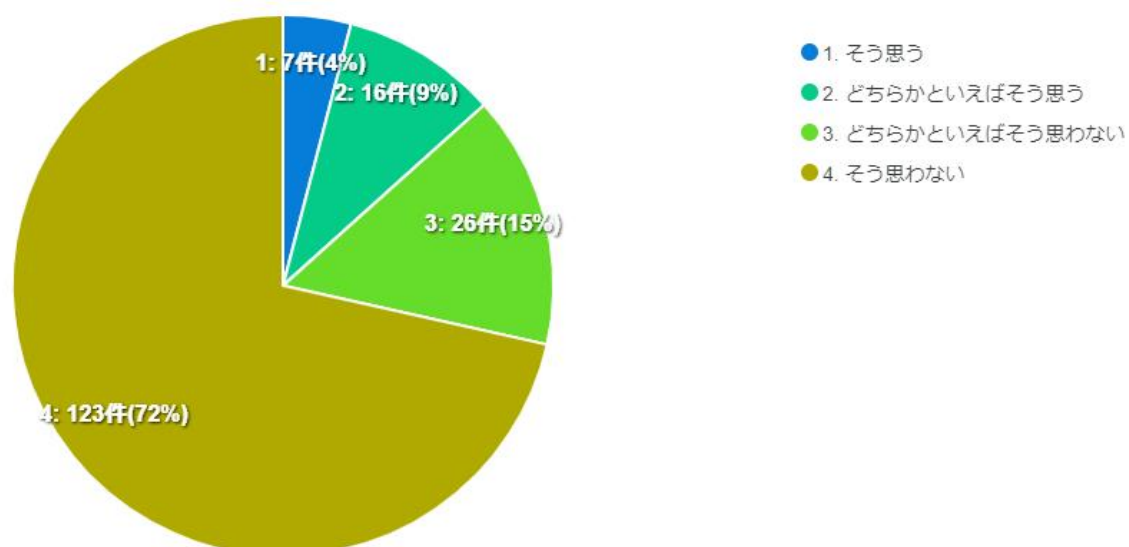
【転勤は男性がするものだ】



【男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ】



【女性の上司には抵抗がある】



Q2: 現状についてどう感じますか？

回答	件数	割合
1. そう思う	4件	2%
2. どちらかといえばそう思う	20件	12%
3. どちらかといえばそう思わない	31件	18%
4. そう思わない	117件	68%

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

1. 思う 3 件(2%)

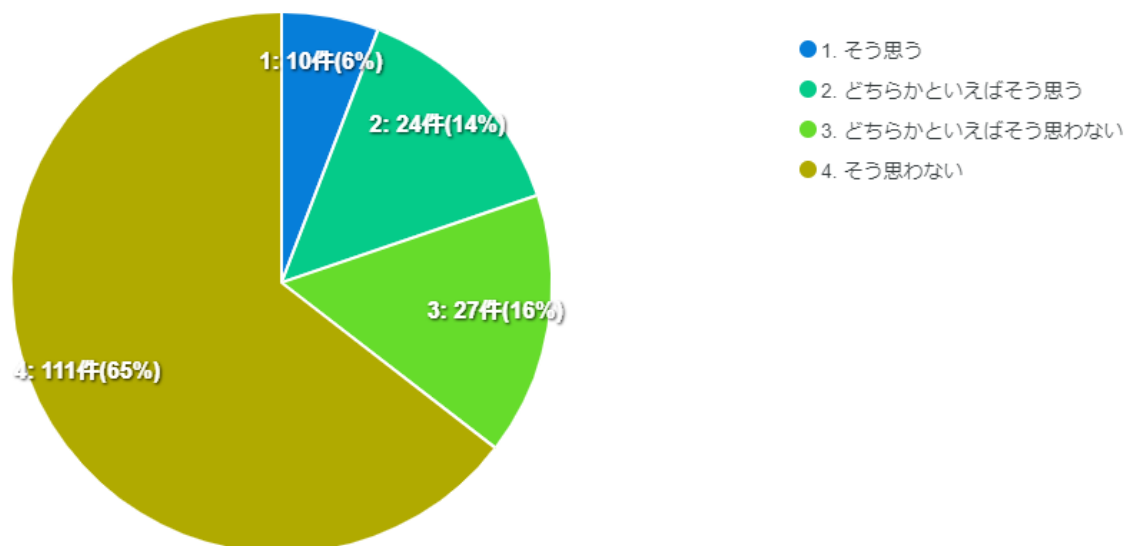
2: 9件(5%)

3: 28件(16%)

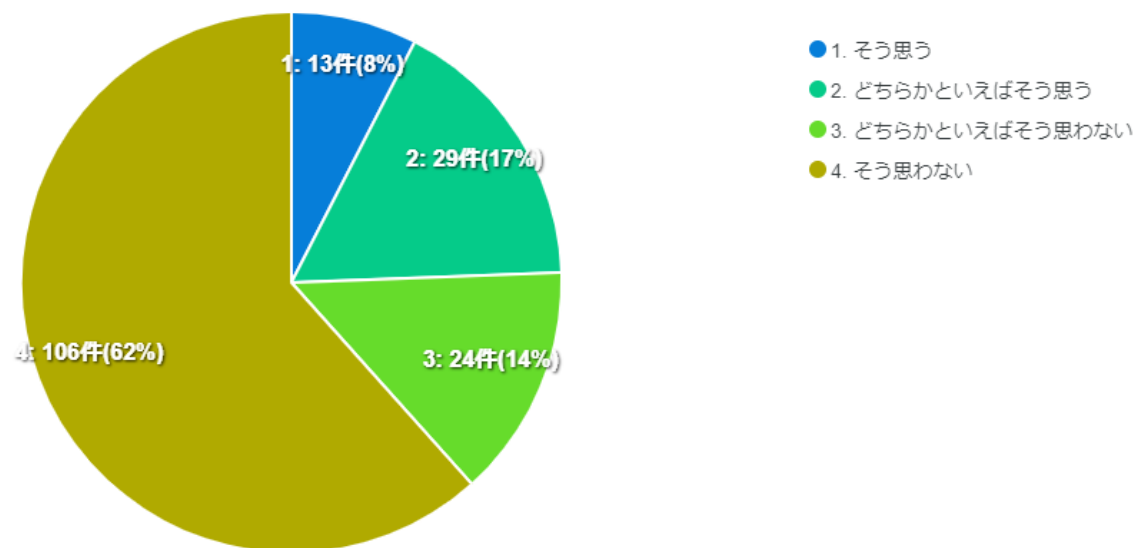
4: 132件(77%)

- 1. 思う
- 2. どちらかといえば思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

【仕事で成功していても、結婚をしていない女性は何かが足りないと感じる】

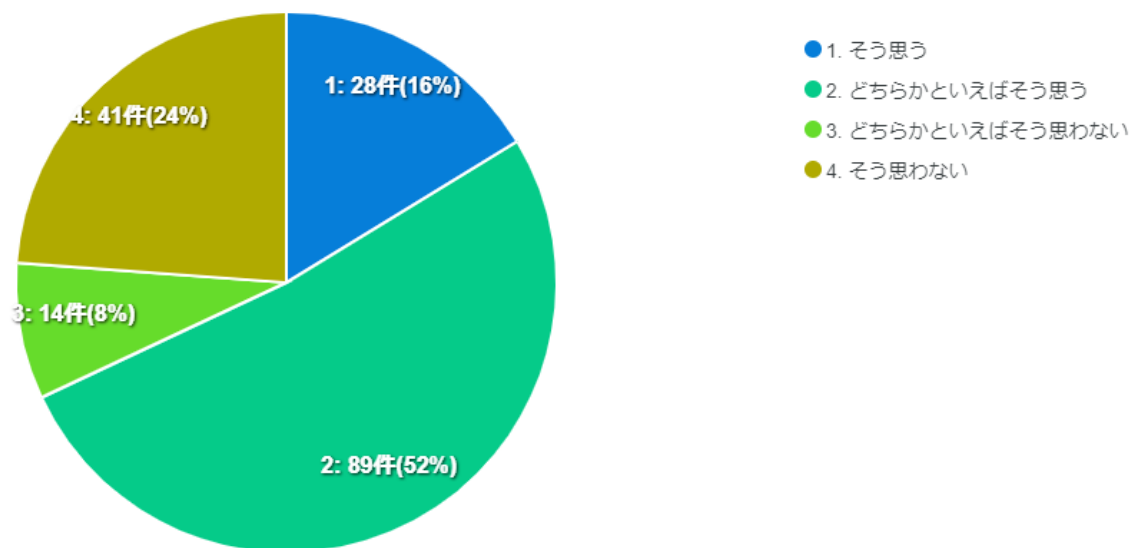


【仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる】

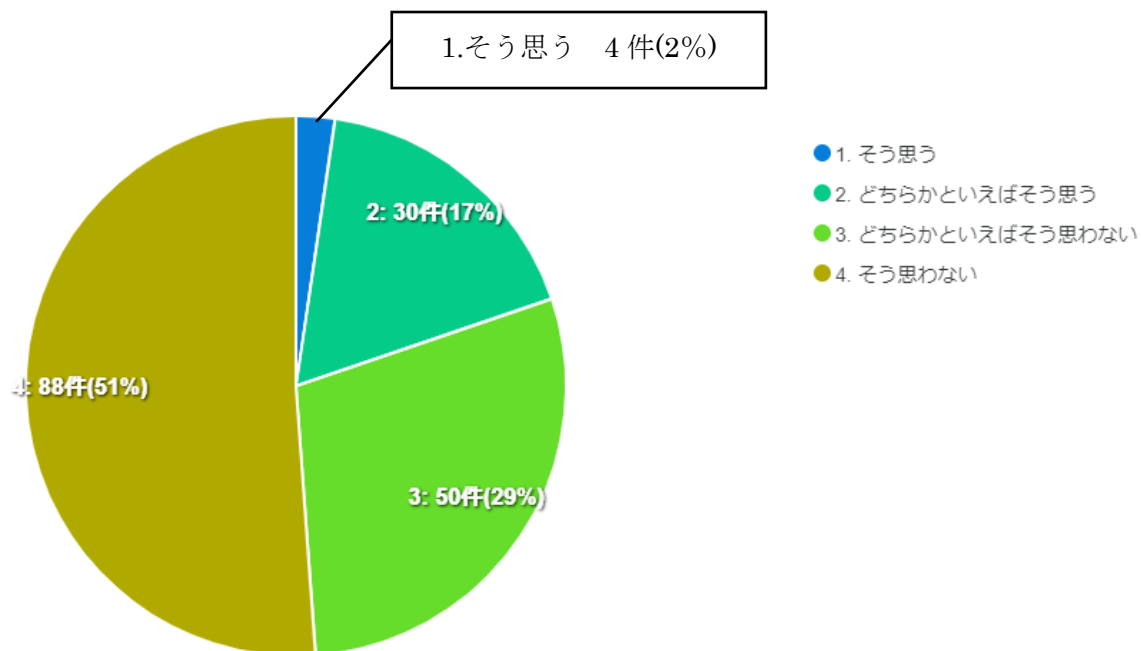


質問 11. その他のアンコンシャス・バイアスについてお伺いします。次の設問から自分に思い当たるものを選んでください。

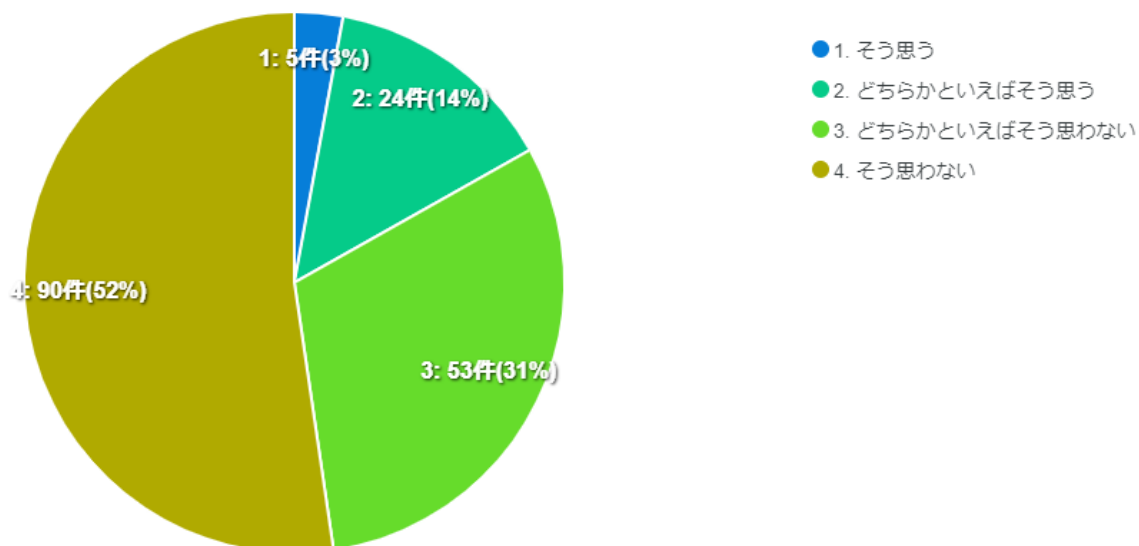
【女性は感情的になりやすい】



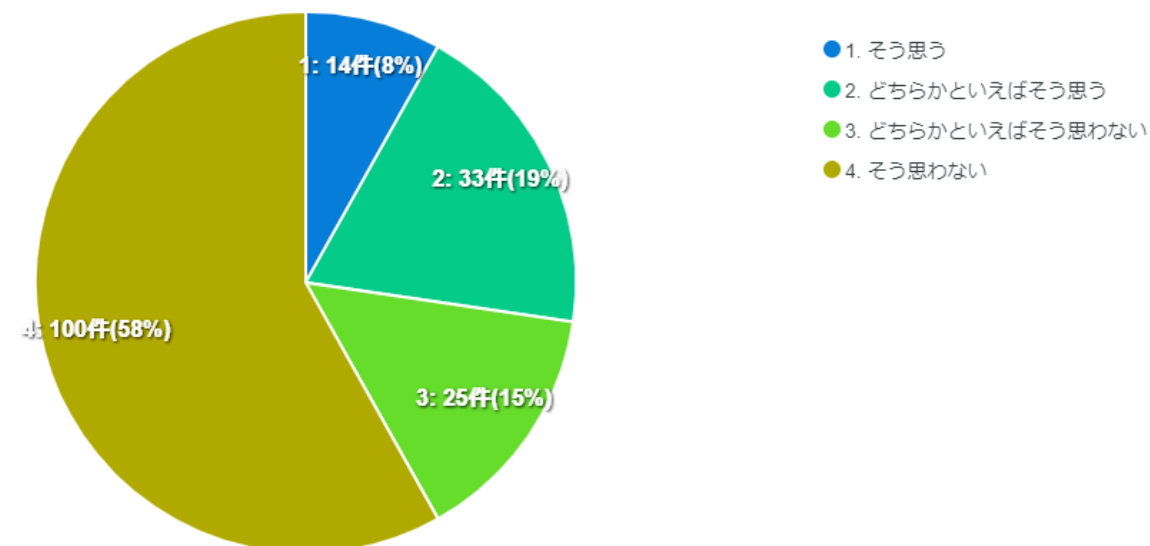
【女性は無理的に考えられない】



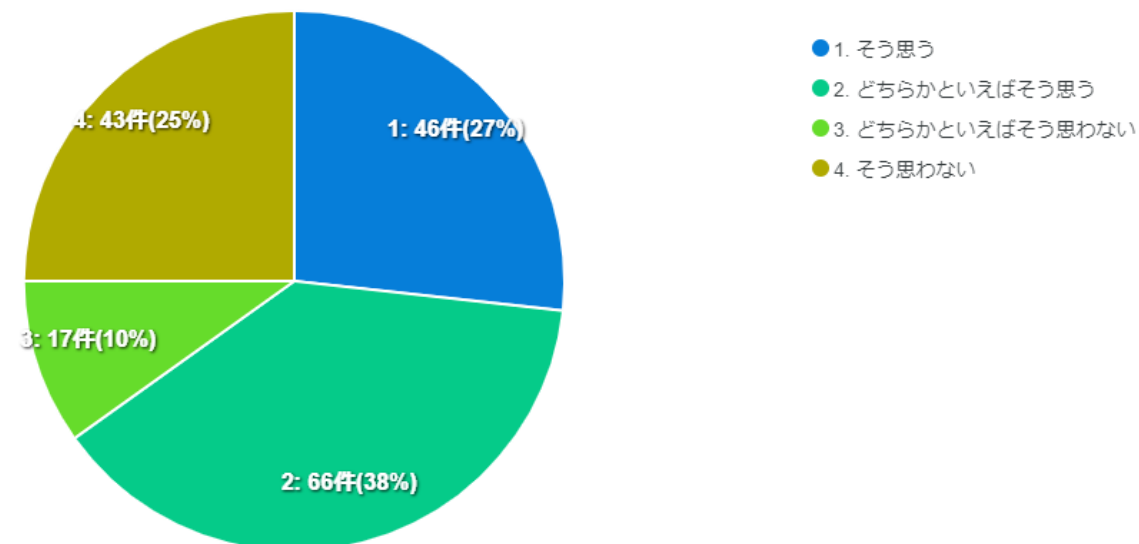
【男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない】



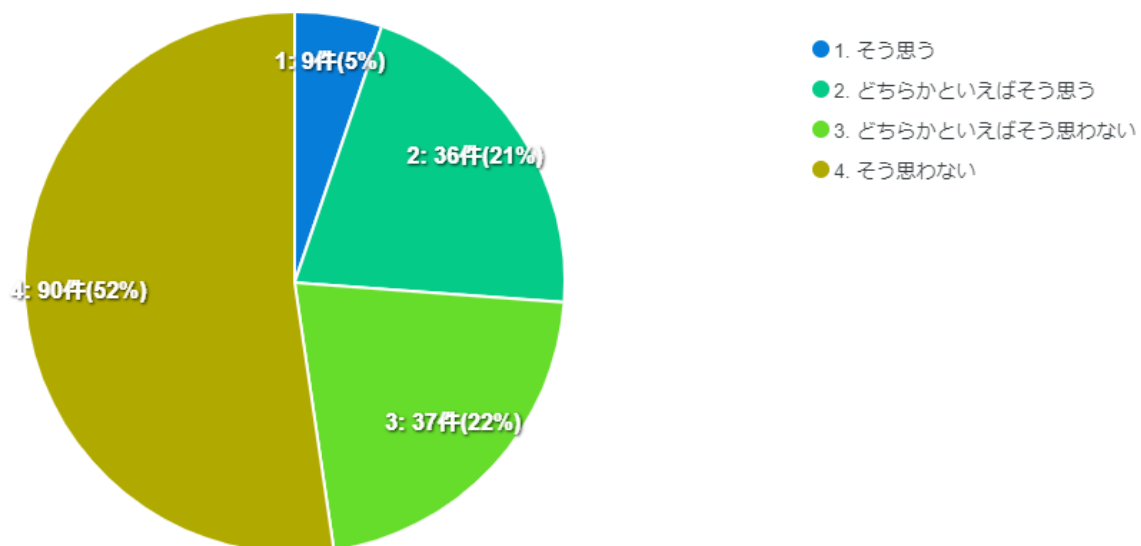
【男性は人前で泣くべきではない】



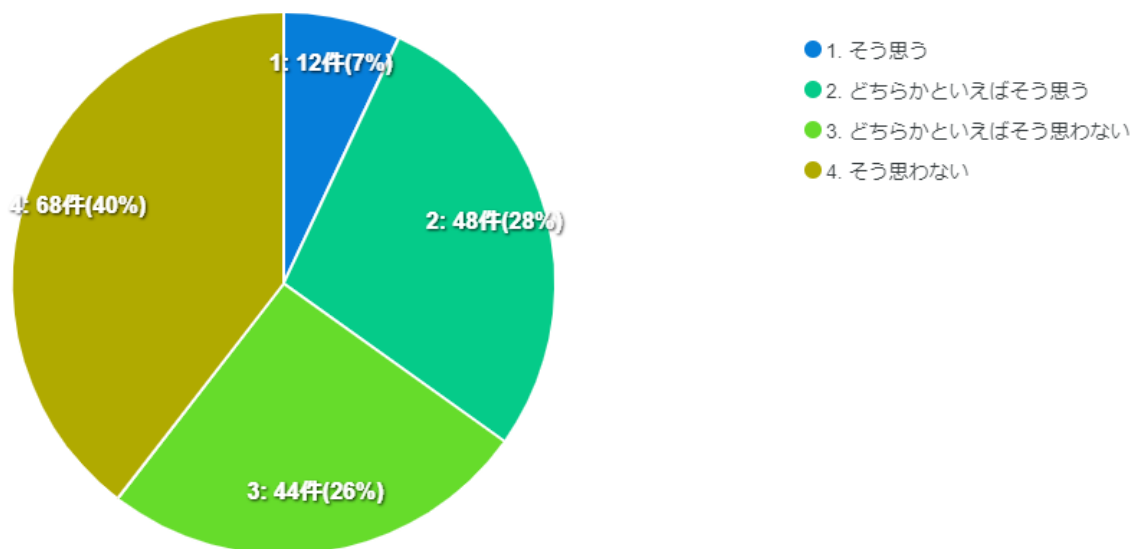
【女性には女性らしい感性があるものだ】



【男性より女性の方が思いやりがある】



【女性はお弱い存在なので、守らなければならない】



7 今後に向けて

男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

男女共生・生涯学習推進課では、男女共同参画社会の実現に向けて、第 3 次男女共同参画基本計画に基づき、これまでも様々な取り組みを推進してきました。

しかしながら、今回の調査結果から、あらゆる場面において依然として男性が優遇をされていると感じている方が多いこと、また、性別役割分担意識について「同感できない」と考える方が多い一方で現実では、女性が職業を持ち続けていくうえで、家事や育児・介護との両立が難しいことが問題となっていることがわかります。

男女共同参画社会を実現していくうえで、固定的な性別役割分担意識の解消やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきを促すことは、重要な課題であると考えられるため、継続して男女共同参画に対する意識啓発に努めてまいります。

また、岐阜市では、男女が共に働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業などを「岐阜市男女共同参画優良事業者」として表彰し、また、男性の家事・育児参画や女性活躍を支援し、その環境づくりに取り組む企業を「ぎふし共育・女性活躍企業」として認定をしています。このような企業の取り組みを市内事業者全体に浸透できるよう、今後も引き続き周知啓発に努めてまいります。

今回の調査結果を踏まえ、「すべての人が自らの未来を選択でき、意欲を持って輝けるまち」を目指し、男女共同参画行政を推進してまいります。

お問い合わせ先

市民協働推進部 男女共生・生涯学習推進課

TEL：058-214-4792／MAIL：danjo-gakushu@city.gifu.gifu.jp